

# 東京外国語大学 留学生支援の会



Since 1999

## 会報

新規ご加入、ご寄付くださった皆様のご協力に御礼申し上げます。  
日本に来た多、皆様の支援を必要としています！！

Pick Up  
Event 2013

10月期バザー開催決定！ バザー用品受付:9月24日(火)~9月30日(月)  
ボランティア募集！ バザーの手が足りません。(詳細17ページ&ピンクの紙！)

〒183-8534 東京都府中市朝日町 3-11-1 東京外国語大学留学生課気付 TEL 042-330-5759 FAX 042-330-5762

<http://www.facebook.com/tufs.issa2>

## INSIDE

## FOCUS

### 1. 巻頭言

Page 1.	1. 巻頭言
Page 2.	2. ご挨拶
Page 3.	3. 事業報告と事業計画(案) 3-1 平成24年度事業報告 3-2 平成25年度事業計画(案) 3-3 平成24年度一般会計収支決算と平成25年度一般会計予算(案) 3-4 平成24年度特別会計報告
Page 9.	4. 活動報告 4-1 4月期バザー報告 4-2 鎌倉見学バスツアー 4-3 現代日本の先端技術紹介(工場見学)
Page 17.	5. これからの活動

### 昨今の「留学推進」に欠けているもの

東京外国語大学長  
立石 博高

昨今の大学改革の議論のなかで、「秋入学」と「ギャップターム」推進の声がかまびすしい。海外から優秀な留学生をわが国の大学に受け入れるためにアカデミックイヤーを工夫することは言うまでもなく必要で、そのために「秋入学」の制度をもうけることは望ましい。しかし、進学先が決まっている3月末に高校を卒業する若者に、秋入学を強いてギャップタームを設けるのは、望ましいことなのだろうか。

私は、高校を卒業した若者たちに対して、彼らの4年間の在学中に大学側が留学やボランティア活動の期間を保障することはきわめて大事だと思う。そのために、現在のアカデミックイヤーを変更して、夏休みの期間を6月中旬から9月中旬までとすることが望ましいと私は考える。それには、現行の学年歴と授業時間・授業形態を変える必要があり、この問題についての学内での真剣な議論を要請している。

私は、「未成年」の若者を、留学であれボランティア活動であれ、大学側がプログラミングもせずに海外に送り出すのは無責任だと思う。さらには、大学入学前の英語力強化として、大学側が用意した「安全な」コースへ送り出すことが、どれだけ積極性や主体性をいまの若者たちに涵養するのも、疑問である。

本学は、これまでに多くの日本人学生を海外に送り出した経験をもっている。だからこそ、本学に入学した学生には、しっかりとした専攻地域に関する語学力と、同地域の歴史・文化・社会に関する知識を修得させたい。そして、自らの主体性をもって同地域に旅立つことをさせたいと思っている。臨地体験をゆたかにするのは、問題意識をもって異文化理解をしようとする若者の積極性だからである。

逆に、海外からの留学生についても、日本語教育を効率的に行なって、彼らの日本語能力を高めるだけでは不十分である。彼らが日本の歴史・文化・社会に関する知識を体得するためには、さまざまな仕掛けをする必要があり、その意味で「留学生支援の会」の皆様のご尽力は、非常にありがたいものである。

今後も、未成年の学生にとってふさわしい留学生生活とは、また成人となった学生にとってふさわしい留学生生活とはどうあるべきか、そんなことも考えながら、本学学生の海外への送り出しと、海外からの留学生の受け入れの双方向の留学制度改善に取り組んでいきたいと思う。「留学生支援の会」の皆様の、これまで以上のご支援をお願いします。

## 2. ご挨拶

### 新しい試み—日本企業の見学

会長 中嶋 洋子

今年の春は、寒暖の差が大きく、天気も変わりやすく落ち着きませんでした。やっと緑の美しい季節になってきました。会員の皆様、お元気ですか？

外語大も 2 学部制になり、国際社会学部の誕生は外語大の新たな未来を予感します。

亀山前学長の後に新しく立石博高学長をお迎え

しました。さっそく立石学長に巻頭言をお願いしました。

さて、平成 25 年度の活動はすでに少しずつ始まっています。今年の活動もまた、一段と活発で新鮮なものとする覚悟です。

従来の活動に加えて、昨年に続き“日本企業の見学”をより実りあるものになりたいと思います。昨年度参加者の留学生、日本人学生の感想文をご覧ください（本会報14、15ページ）。このイベントの意義がおのずと示された内容に新鮮な印象をもちました。

もとよりこのイベントの意義は、特徴ある企業を見学し、日本の経済発展の一端を理解することにあります。特徴ある企業の背後には、必ず古き良き伝統が隠されていると思います。

平成 24 年度事業報告、決算並びに 25 年度事業計画、予算などについては 3 ページ～8 ページをご覧ください。

話は変わりますが、4 月入学式前後に、316 名余の方々から新規ご入会くださいました。内、2 名の方が幹事にもなってくださいました。心より感謝申し上げます。今年度に続き来年度もぜひ会費納入をお願いいたします。25 年度分は 4 月に納入してくださいましたから 26 年の会報 6 月号(46 号)と共に振り込み用紙をお送りします。その時に来年度分として納入入いただければ結構です。

会費収入は活動の要です。是非ご協力くださいませう。

私事になりますが、2月14日、夫の中嶋嶺雄(元東京外国語大学長・前国際教養大学学長)が亡くなりました。

「人は死んでも他の人の記憶のなかに生き続ける。これもその人(死んだ人・洋子注)の生命の一つのあり方である。これは大切なことだ。それによって、個人の限界を超えてその人とともに生きることになるのである。」(『中嶋ゼミ追悼集』より)

当会の幹事他多くの方々に支えていただき、私の再出発の人生が始まります。

# REPORT

## 3. 事業報告と事業計画(案)

### 3-1 平成24年度事業報告

#### A. 生活支援事業

##### 1. 給付事業

###### (1) 生活用品・図書を廉価で給付するバザーを国際交流会館で開催しました

###### 1) 春期バザー

平成24年4月24日(火)～25日(水)

場所 国際交流会館2号館

交流ホール

来場留学生約200名

###### 2) 秋期バザー

平成24年10月2日(火)～3日(水)

場所 国際交流会館2号館

交流ホール

来場留学生約250名

###### (2) 入院見舞金を贈りました

入院5日以上 of 留学生2名に、見舞金

一人1万円を贈りました

###### (3) 博士論文印刷費補助金を支給しました

博士学位取得者1名に論文印刷費

補助金5万円を支給しました

###### (4) 学会へ出席して研究発表する留学生に旅費補助金を支給しました

国外開催 1人5万円を4名

国内開催 1人2万円を3名

###### (5) 生活支援金、1人10万円を4人に支給しました

##### 2. 貸与事業

###### 緊急貸付金を貸与しました

「留学生緊急貸付基金」より、授業料

納入等で困窮している留学生に貸与

今期貸与 36名

基金総額 6,492,761円

貸付総額 5,669,200円

平成24年度当初貸付可能額 823,561円

##### 3. 相談事業

留学生の住居・学費・引っ越し、アルバイト等に関する相談に対応しました

#### B. 友好親善事業

##### 1. 国際交流事業

###### 「国際交流の夕べ」(留学生交流会)を大学と共催しました

平成24年12月14日(金) 大学会館

参加者 留学生 250名

日本人学生 50名

来賓等 50名

幹事等 15名

合計 365名

##### 2. 会員等の協力による友好事業

###### (1) ホームステイを受け入れていただきました

静岡県沼津市 12家庭 留学生20名

新潟県長岡市 1家庭 留学生2名

東京都 4家庭 留学生4名

###### (2) 墨田区の伝統工芸職人の作品展見学に参加しました

6月22日(金) 墨田区「ぎやらりーささや」

参加者 留学生2名

###### (3) 日本舞踊 中村流の日本舞踊体験教室に参加しました

8月12日(日)

墨田区「すみだパークスタジオ」

参加者 留学生2名

###### (4) 大相撲秋場所土俵祭り見学に参加しました

9月8日(土) 両国国技館

参加者 留学生1家族(3名)

###### (5) 地域の文化行事に参加しました

1) 府中市多摩駅前商店街秋の

ふれあい祭り

10月8日(月) 留学生5名

2) 府中市文化祭

10月21日(日)

紅葉丘文化センター

留学生9名、日本人学生2名、

幹事2名

###### (6) 会員のご好意により新年会を開いていただきました

平成25年1月2日(水) 留学生他約50名

東京都板橋区 中嶋洋子 会長宅

###### (7) 相撲部屋見学に参加しました

佐渡ヶ嶽部屋の朝稽古を見学しました

平成25年1月18日(金)

留学生4名、会員3名

- (8) 会員の宮本るみ子さんのご好意により  
クラシックコンサートへ10名の  
留学生が招待されました  
1月17日(木) 19:00 開演 紀尾井ホール  
アドリアン・ユストゥス ヴァイオリン・  
リサイタル

- 4) 「日本文化体験教室」を大学と共催いたし  
ました  
12月14日(金)  
振袖着付け、華道、茶道、墨絵、折紙、  
和紙人形、囲碁、将棋、伝統的遊び  
参加者 留学生170名

## C. 相互理解事業

### 1. 日本理解事業

#### (1) 日本文化の見学

- 1) 歌舞伎を鑑賞し、懇談茶話会を開きました  
6月17日(火) 「国立劇場歌舞伎鑑賞教室」  
留学生40名、日本人学生16名、幹事9名  
計55名
- 2) 東京下町ツアーを楽しみました  
隅田川クルーズ、浅草散歩、江戸東京博物  
館を見学し、ちゃんこ鍋を囲む懇親会を持  
ちました。  
12月1日(土)  
留学生34名、日本人学生15名  
幹事7名、計56名

#### 3) 鎌倉の文化財と自然環境の見学バス ツアーに行きました

平成25年3月20日(水・祝)  
留学生30名、日本人学生5名  
鎌倉在住OB・OG 4名  
幹事6名、計45名

#### 4) 大国魂神社くらやみ祭りへ参加しました

平成24年5月4日(金・祝)  
留学生18名、日本人学生1名、幹事4名

#### (2) 日本文化の体験

- 1) 日本語広場を開設しました(通年)  
受講者10名、講師4名
- 2) 日本伝統文化教室を開きました(通年)  
華道、茶道、書道、囲碁、将棋、尺八  
毎週開設 参加留学生100名
- 3) 七夕茶会を開きました  
7月3日(火)  
参加留学生30名、日本人学生等20名

### 2. 国際理解事業

#### (1) 各国文化紹介—お茶とお菓子をとおして— 各国のお茶とお菓子について説明し賞味 してもらいました

- 1) 第14回 6月20日(水)  
アゴラ・グローバル カフェ  
留学生・日本人学生150名  
発表参加国 オランダ、ルーマニア、  
シンガポール
- 2) 第15回 11月7日(水)  
留学生・日本人学生200名  
アゴラ・グローバル カフェ  
発表参加国 トルコ、タジキスタン、  
フィンランド

#### (2) 小中学校の国際理解教育等への留学生の 派遣

- 1) 小金井市立小金井東小学校  
平成24年6月28日  
参加留学生数20名
- 2) 町田市立真光寺中学校  
平成24年6月16日  
参加留学生数4名
- 3) 川崎市立はるひ野中学校  
平成24年7月、10月、11月、  
平成25年2月に4名ずつ  
16名の留学生が参加
- 4) 調布市立調布北高等学校  
平成25年年2月12日  
参加留学生数6名  
参加高校生250名
- 5) 府中市立武蔵台小学校  
平成24年年2月8日  
参加留学生数10名  
平成24年年3月15日  
参加留学生数4名

#### (3) ラボ東京西地区外国人との交流会に4名の 留学生が参加しました

- (4) 横浜市緑園都市コミュニティ協会の  
トークサロンにトルコの学生を講師として  
派遣しました

## D. 広報その他の事業

1. 支援の会の「会報」誌を3回発行しました  
No. 40号 平成24年6月  
No. 41号 平成24年11月  
No. 42号 平成24年2月
2. ファイスブックをベースにしたホームページ  
を運営しました  
<https://www.facebook.com/tufs.issa2>
3. 大学新入生入学式の際に会員募集の説明を  
しました
4. 幹事会を開催しました  
幹事13名が次のように幹事会を開いて、行事  
の企画・運営について相談するとともに、行  
事に参加し進行に携わりました  
第1回 平成24年4月22日  
第2回 平成24年5月12日  
第3回 平成24年6月16日  
第4回 平成24年7月14日  
第5回 平成24年10月8日  
第6回 平成24年11月11日  
第7回 平成24年12月9日  
第8回 平成25年1月13日  
第9回 平成25年2月24日  
第10回 平成25年3月17日
5. 会員数1,978名  
(平成25年5月末)

## 3-2 平成25年度事業計画(案)

### A. 生活支援事業

1. 給付事業
  - (1) 生活用品・図書のパザー (廉価で給付)
    - 1) 春期パザー  
4月9日(火)~10日(水)
    - 2) 秋期パザー  
10月予定
  - (2) 入院見舞金  
入院5日以上に、1人1万円
  - (3) 博士論文印刷費補助  
1人5万円、5人 計25万円
  - (4) 学会発表者への旅費助成金  
国外の学会参加者5万円  
国内の学会参加者2万円、計30万円

### 2. 貸与事業

**緊急貸付金**  
緊急貸付基金より授業料等緊急に必要な  
経費のために貸与

### 3. 相談事業

住居・交通事故・法律・子供の健康等の  
相談に連絡室で対応

### B. 友好親善事業

#### 1. 国際交流事業

「国際交流のタベ」の開催 (大学と共催)  
留学生全員を招待 12月中旬予定

#### 2. 会員等の協力による友好親善事業

(1) 会員の協力によるホームステイ・ホーム  
ビジット受入れ  
ご協力いただく会員のお宅へ伺う

(2) 会員のご好意による新年会、その他  
交流会の開催

(3) 地域の文化的行事への参加

### C. 相互理解事業

#### 1. 日本理解事業

(1) 日本文化の見学

1) 歌舞伎鑑賞と茶話会

6月9日(日)

国立劇場「歌舞伎鑑賞教室」

- 2) 東京下町ツアー、江戸東京博物館  
見学と相撲ちゃんご鍋会食  
10月または11月を予定
- 3) 鎌倉文化遺産と自然の見学  
(日帰りバス旅行)  
平成26年3月21日(金/祝)
- 4) 日本の特徴ある企業を見学し、  
日本経済発展の一端を理解する
- 5) 地元のお祭り等文化的行事への参加



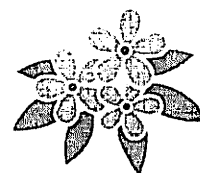
## (2) 日本文化の体験

- 1) 日本語広場の開設  
留学生の家族、研究者を対象に  
週3回程度
- 2) 各種日本文化教室の開設(毎週)  
華道・茶道・書道・囲碁・将棋・  
尺八
- 3) 七夕茶会  
7月
- 4) 伝統芸能など伝統的な日本文化体験  
(日本舞踊、相撲部屋見学等)
- 5) 「日本文化体験教室」の開設  
(大学と共催) 12月中旬



## 2. 国際理解事業

- (1) 各国文化紹介—私の国のお茶とお菓子—  
留学生同士の交流、日本人学生との  
交流の会の開催を年2回、各回3か国
- (2) 国際理解教育授業への留学生の派遣  
地元の小学校・中学校・高等学校からの  
要請を受けて。



## D. 広報その他の事業

1. 「支援の会会報」誌の刊行  
第43号(平成25年6月)  
第44号(平成25年11月)  
第45号(平成26年2月)
2. フェイスブックの運営
3. 会員募集のための諸活動  
大学新入生入学式の際など



**留学生支援** 会員の皆様ひとりひとりが  
留学生の笑顔をつくれます!

### 3-3 資料：会計報告と予算（案）

#### 平成24年度 一般会計収支決算

東京外国語大学留学生支援の会 平成24年度 一般会計収支決算 平成24年4月1日～平成25年3月31日

##### 《収入の部》

科目	項目	24年度予算額	24年度決算額	備考
前年度繰越金		3,254,857	3,254,857	前年度繰越金3,254,857円に前受金852,500円含む
会費	一般会員	1,365,000	2,220,000	3,000円×740名 但し264名792,000円は25年度分前受金(-) 195名585,000円を23年度に前受済(+)
	協賛会員	180,000	120,000	20,000円×6名 但し1名20,000円は25年度分前受金(-) 3名60,000円を23年度に前受済(+)
寄付	一般	373,000	975,000	但し16,000円は25年度分前受金(-) 23年度に227,000円前受済(+)
	緊急貸付基金	-	10,000	
その他	バザー等	400,000	399,512	バザー収益金・国際交流のタペカンパ・行事参加費
	利息	1,000	445	
収入の部合計(A)		5,573,857	6,979,814	但し828,000円は25年度分前受金(-) 872,000円を23年度に前受済(+)

##### 《支出の部》

科目	項目	24年度予算額	24年度決算額	摘要
活動費 (友好親善事業・ 相互理解事業)	国際交流行事共催費	400,000	392,250	伝統文化体験費・交流会費(大学との共催)
	史跡見学費	300,000	232,250	鎌倉見学
	日本文化見学費	500,000	481,451	歌舞伎見学・東京下町体験ツアー・ふじの国ツアー
	日本文化体験費	100,000	196,746	華道・書道・茶道
	日本人学生との交流会	200,000	202,949	茶・菓子等
	その他の交流活動費	100,000	33,935	国際理解教育交通費・謝金
活動費 (生活支援事業)	教育研究支援金	450,000	280,000	博士論文印刷費補助金・学会発表出席旅費補助金
	生活支援金	470,000	420,000	入院補助金・臨時生活支援金
	活動費小計(a)	2,520,000	2,239,581	
運営費	インターネット管理費	30,000	32,134	プロバイダ使用料
	消耗品費	10,000	21,624	プリンターインク代
	備品費	30,000	-	
	通信費	500,000	447,960	会報発送費等
	印刷費	370,000	317,793	会報印刷費等
	会議費	-	-	
	連絡室運営費	20,000	26,877	連絡室用携帯電話使用料
	郵便振替手数料	45,500	79,990	但し26,500円前払済
	その他		244,000	アルバイト代
	運営費小計(b)	1,205,500	1,170,378	但し26,500円前払済
予備費	(c)	100,000	-	
繰入金	緊急貸付基金(d)	100,000	234,000	
支出の部の合計(B)	(a)+(b)+(c)+(d)	3,925,500	3,643,959	
次年度繰越金 (A)-(B)		1,648,357	3,335,855	但し25年度分前受金前払金計801,500円差引後 2,534,355円

上記の通り相違ございません。

平成25年5月28日

監事 山口 健一 (M)

## 平成25年度 一般会計予算(案)

### 東京外国語大学留学生支援の会 平成25年度一般会計予算(案)

#### 《収入の部》

科目	項目	25年度予算額	備考
前年度繰越金		3,335,855	前受金801,500円含む
会費	一般会員	1,218,000	3,000円×670名 792,000円前受済 会員数1,945名
	協賛会員	140,000	20,000円×8名 但し1名20,000円前受済
寄付	一般	484,000	但し16,000円前受済
	緊急貸付基金	-	
その他	バザー等	470,000	バザー収益・国際交流のタベカンパ・行事参加費
	利息	500	
収入の部合計(A)		5,648,355	但し828,000円前受済

#### 《支出の部》

科目	項目	25年度予算額	摘要
活動費 (友好親善事業・ 相互理解事業)	国際交流行事共催費	400,000	伝統文化体験費・交流会費(大学との共催)
	史跡見学費	250,000	鎌倉見学
	日本文化見学費	500,000	歌舞伎見学・東京下町体験ツアー・ふじの国ツアー
	日本先端技術見学費	200,000	先端技術工場見学
	日本文化体験費	200,000	華道・書道・茶道・日本語広場
	日本人学生との交流会費	200,000	茶・菓子等
	その他の交流活動費	100,000	国際理解教育交通費・謝金
活動費 (生活支援事業)	教育研究支援金	500,000	博士論文印刷費補助金・学会発表出席旅費補助金
	入院見舞金	70,000	入院見舞金
活動費 (広報普及事業)	通信費	500,000	会報発送費等
	印刷費	350,000	会報印刷費等
	活動費小計(a)	3,270,000	
運営費	消耗品費	20,000	プリンターインク代・コピー用紙代
	備品費	30,000	
	連絡室運営費	30,000	連絡室用携帯電話使用料
	郵便振替手数料	43,500	但し26,500円前払済
	その他	250,000	アルバイト代
	運営費小計(b)	373,500	但し26,500円前払済
予備費	(c)	100,000	
繰入金	緊急貸付基金(d)	100,000	バザー収益のみ
支出の部の合計(B)	(a)+(b)+(c)+(d)	3,843,500	
次年度繰越金 (A)-(B)	(A)-(B)	1,804,855	



### 3-4 平成24年度特別会計 (緊急貸付基金)報告

(平成24年4月～平成25年3月) 単位：円

1	前期末基金総額	6,258,761
2	当期基金積み増し額 (一般会計からの繰り入れ 100,000+ バザー売上げ金 134,000)	234,000
3	当期基金総額(1+2)	6,492,761
4	損金計上	670,000
5	基金総額(3-4)	5,822,761
6	前期末貸付残額	5,708,200
7	当期貸付額 合計 36件(授業料等 10件、生活費 12件、 家賃・引越し等 8件、研究旅費 4件、緊急帰国 旅費 2件)	2,570,000
8	当期返済(回収)額	2,609,000
9	当期末貸付残額(6+7-8)	5,669,200
10	繰越し貸付額(9-4)	4,999,200
11	貸付可能繰越金	823,561
12	次期基金総額	5,822,761

今年度は、緊急貸し付け基金を開始してから12年目になります。開始時は、160万円だった基金総額も、649万円になりました。その間に、444名の留学生が学費、家賃、生活費などの理由でこの基金を利用し、留学生生活を続けてきました。これもひとえに会員の皆様のご支援のおかげと感謝しております。今年度は、生活費の貸し付けが学費より多い件数になりました。学生にとって除籍される恐れは避けたいとのことで、学費の支払を先にした結果、生活費が無くなったという理由がほとんどでした。

今年度貸付額と返済額がほぼ同じ金額になった理由は、長期に借りていた留学生が、卒業時には返済したいと頑張って返してきたこと、少額でも定期的に返済に来る学生が増えたことと、学生への連絡を増やした事等によります。

それにもかかわらず今期末の貸付残額が減少しなかったのは、昨年度できる限り連絡と督促に努めてきた長期借用者が、結局返済不能(除籍や就職不可)の状態になり、貸付金が戻らなかったためです。それぞれに難しい事情があり、音信不能になってしまい心が痛みます。残念なことです。緊急貸付運用指針に基づき、回収が極めて困難と思われる67万円については損金処理をすることになりました。

(貸付担当幹事 梅田由美子)

## 4. 活動報告

### 4-1 4月期バザー

今年の春は気温の変化が激しくて、入学式には桜もほとんど散ってしまい、4月入学の留学生たちはとても残念な思いをしたようです。

今年度は、バザーも従来よりも早く、4月9日(火)～10日(水)の2日間、従来通り国際交流会館2号館交流ホールで開催しました。

会期前1週間の短期間に、近くの会員の方だけでなく、地方の会員の方々からもたくさんの品々が届きました。今年も、寝具、タオル、電気釜、トースター、電子レンジなど、新しいものも多くありました。電気ポット、お皿などの日用品、それに書籍などもたくさん送っていただきました。また、机や本箱、電気スタンドなど、卒業する留学生がバザーで買った物を、また後輩にと、残していったものも多くありました。

来日して間もない留学生たちは、新しい生活を始めるのに必要なものが、バザーでそろえられることがとても嬉しいと、寝具、タオル、日用品、文房具は勿論、衣類も可愛いものを色々を選んで、喜んで持ち帰りました。新品の電気製品は、くじ引きで当たった人のところに渡りました。今季は、日本人形もたくさんいただきましたが、すぐなくなりました。バック、食料品なども、ほとんどがなくなりました。今季は書籍が少なかったのですが、辞書、日本語教育関係の本などは、人気がありました。残ったものは秋のバザーにまわすことになりました。

なお、今回は原則として、電気製品は200円から

1,000 円、他はすべて 100 円(小さな物はまとめて)、書籍はただとしました。

### バザーの収益金は、61,800 円でした。

- \* いつもながら毎回、送料もいわず、様々な品物を提供して下さった会員の皆様には、留学生ともども心から感謝申し上げます。
- \* 2013 年 春期バザーへのご協力ありがとうございました

### 「抽選当った」という電話が嬉しい！！

言語文化研究生 (中国)  
リュウ タン

今年の四月に東京外国語大学に研究生として新しく入学した劉丹と申します。

念願の大学に入られてとても嬉しく存じます。これから院生試験に向けて猛勉強するつもりですが、やはり留学生生活は勉強だけではありません。親に頼らず自活したいため、バイトを探さないと生活できなくなるので最近色んなお店に電話しました。それでも日本に初めて来てお金のかかることがたくさんあります。まだ四月に入ったばかりなのに、出費が多くて予算より遥かにオーバーしました。

そこで、留学生支援の会の先生方が私みたいな留学生のために、バザーを開いてくださいました。バザーで売っている商品はクオリティといい、デザインといい、安くていいものがたくさん揃っています。私は元々日本の伝統的なものが好きなのでウサギ柄の扇子を買いました。ピンクの洋服と一緒に買うと、なんと100円！信じられないほど安い！しかもとても気に入ったものだから、その喜びといたらないです。

バザーで新品の電気商品もありました。でもそれは抽選結果によって当った人だけ買えることができます。たくさんの方が自分の名前と電話番号を次々と書きました。参加人数が多いので当るのが難しいと思いながら、駄目元で自分の名前も書きました。当たらないと願いつつ、本当に当られるなんて思いもしなかつ

たです。三日後、先生から「抽選当った」という電話をもらった時、運というものが本当に存在すると実感しました。このことについてまた色々考えました。

私たち留学生は遠くから日本にやってきて、勉強しに来ましたが、留学生生活は想像より甘くはありません。現実を言うと、今より更に難しいことや大きいなチャレンジがこの先に待っているはずですが、その時、怖がらずに、まず先に大胆な一歩を踏み出せば、きっといい結果が訪れると信じています。

これからも留学生支援の会のご協力のもとで、皆様と一緒に自分の夢を実現するため頑張りたいと存じます。色々な活動を開いてくださって誠にありがとうございます！

## Thank you!

### ありがとうございました



## 4-2 鎌倉見学バスツアー

日時 平成 25 年 3 月 20 日(水/祝)  
午前 8 時 10 分集合、出発 8 時 30 分  
参加者 留学生 25 名、日本人学生 5 名、幹事 6 名、  
鎌倉会員 4 名  
行程 新宿駅バスで出発—建長寺—鶴岡八幡宮  
—由比ヶ浜ホテル若宮で昼食—食後海岸で  
遊んだ後、長谷寺まで散歩—大仏—  
新宿帰着

今回参加の留学生は、総じて時間に正確で、予定どおりに行程が進んだ。8時半、バスが出発して会員の北村さん差し入れのお菓子でお腹を満たしながら、順次自己紹介をした後、学生たちはそれぞれ近くの者同士仲良く交流していた。鎌倉には予定通り10時に到着。鎌倉の会員4人も乗車し、車中で簡単な鎌倉の歴史について説明があった。その後訪れる寺院、神社ごとにグループで説明を受け、それぞれ自由に写真をとったりして見学。お昼は、ホテルで会席料理をいただいた。一部、もっとお腹一杯になる料理を希望する学生もいたが、会席料理を食べる機会がないので、よかったという意見が大半だった。午後の行程に海を楽しみ、徒歩で裏道を歩くコースが入ったのは、とてもおもしろかったという意見が多く聞かれた。

鎌倉の会員の方の資料、説明も更にわかりやすくなっていて、参加者もしっかり聞き入っていた。帰路のバスの中は、朝が早かったせいと、歩き疲れたためか、心地よさそうに眠っている人が多く、気がついたら新宿駅だったという感じであった。

春の一日、天候にも恵まれ、日本の歴史、文化を身体全体で学び、楽しんだバスツアーであった。

毎年のことながら、鎌倉在住の4人の会員の方々のご協力に感謝いたします！！

(梅田 記)

### 「武家の古都 鎌倉」を案内

望月 和彦

私は3月20日、鎌倉見学旅行の案内をした者です。

当日は朝から穏やかな春らしい天候でした。これなら楽しい見学旅行が期待できると、バスの到着を待つ間、関係者と話していました。

まず、バスの中で見学する「鎌倉」について説明をさせてもらいましたが、素晴らしい天気だったのでバスから降りて、早くさわやかな空気を吸いたかったのではないのでしょうか。

鎌倉は12世紀末から14世紀前半にかけて150年間、武家が支配する政治権力の中心地でした。また、三方が山に囲まれ、一方が海に開いた要害の地形にあり未だ中世の都市形態を残しています。

早速、武家が設計した中世の街を見ることにして、中国僧を招いて創建された建長寺を訪れました。ここは中国から宗教と共に先進的な文化を取り入れた拠点で、外国語を話す人々がいて、現在の大学のような役割もしていました。

次に、武家政権の重要な場所 鶴岡八幡宮に足を運びました。3月20日は国民の祝日で休日のため、八幡宮は沢山の人で賑わっていました。参詣の人が多かったことや見学する所が沢山あったのでしょうか、約束の集合時間が大分遅れてしまいました。

これから見学する場所が沢山あり、先々のことを考えて時間厳守をお願いしました。

バスにて八幡宮前から伸びている道(段葛)の桜を眺めながら、海岸方向に移動しました。今は静かな砂浜のある海岸ですが、鎌倉時代には中国から文物を運んできた船が何艘も浮かんでいたことを話していると、昼食をいただくホテルに到着となりました。

午後、長谷観音に行く迄の途中、海岸に降りて砂浜を散策する時間を今回初めて持つことにしました。広い海原を見て、海風を浴びての散策は大変に喜ばれました。

長谷観音では一人遅れてきた人がいました。聞くところによれば、生まれて初めて海を見たので、素足になり砂浜を歩いてきたとのことでした。このような経験をされたのであれば、少しぐらいの遅れは許されても良いですね。

最後に訪れた所は国宝の鎌倉大仏です。鎌倉大仏は創建当時、建物の中にありました。

しかし、15世紀末、当地で起きた地震による津波で建物が破壊されてから、露座の状態です。津波の怖さを知ってもらいたかったので、説明しました。

さて、裏山の緑を背にして座っている大仏様を見て、学生さん達がどんなことを感じたかお聞きしたかったです。そういえば昨年の旅行からバスでの移動となり、学生さん達と言葉を交わす機会が少なくなり、少し寂しいです。

今年は素晴らしい天気にも恵まれ、皆様のご協力を得たお蔭で、予定の時刻にサヨナラをしてお別れすることが出来ました。

これからも、お元気に活躍されてください。



(↑恒例の集合写真。とてもいい思い出に！)



(↑これが太平洋かぁ～とそれぞれ波と戯れるひと時。)

## やっと行くことになった古都「鎌倉」

研究生 (中国)

朱琳

3月20日春分の日、朝早く起きて、慌てて電車に乗って新宿に着きました。バスの発車時間は8時30分と言われていたが、私が少し遅刻しました。

イライラとする気分でバスに上がったら、ガイドの先生に思いかけずお菓子の袋をもらいました。とても可愛い紙袋の中に、いろいろな種類のお菓子が入っています。確かに朝早く起きたから、朝御飯も食べずに急いで新宿へ向かった私が、再び先生達の思いやりに感心しました。そう思いながら、気分も少しずつ晴れるようになってきました。

旅行にとって本当にいい天気でした。初めて鎌倉に行く30数名の留学生たちと、楽しくバスの中で喋ったり笑ったりして、私の気分もわくわくしてきました。

鎌倉、「武家の古都」、「日本人の価値観や行動様式に大きな影響を与えてきた。武家政権消滅後も日本人のよりどころとして多くのものが現在まで受け継がれている」という、テレビや歴史のテキストでよく見ているこの日本歴史上有名な古都に、やっと行くことになりました。

最初の目的地は建長寺でした。道の両側が桜の木を植えてあります。まだまだ初春の時期とは言え、大門から入ると桜の色が目には溢れるほど咲いています。「建長寺の創建は、大体中国の様式をまねていた。初代の住持も中国宋代の禅僧で、寺内の日常会話も中国語が使われていたという。」とガイドの先生が教えてくれました。頭をあげて見たら、この長い歴史を持つ寺は初春のやさしい日差しの中で桜の花と共に静かに佇んでいます。700数年前のこの寺では、またどんな風景があったかな、私がそう思いながら境内を歩き回っていました。

次は鶴岡八幡宮。建長寺と違って、ここははるかに賑やかでした。神社だからでしょうか。私がエジプトからのヘラさんと一緒に若宮大路を歩きました。イスラムだから、スカーフを被っているヘラさんはたまには人に見られます。「私がここで出たのはおかしいよね」とヘラさんが照れそうに笑いました。そろそろ集合の時間になります。若宮大路が長いから、残念ながら途中で

で折り返さなければならぬのです。

昼食は、精巧な和食でした。由比が浜ホテルは由比が浜海岸に位置して、眺めがすごく素晴らしかったです。昼食の後、ガイドの先生と一緒に海岸へ散歩に行きました。海岸ではとっくに集まっている各国の留学生たちが大声で笑ったり遊んだりしています。それぞれの髪と肌の色を持っている若者達と同じ海。私がそれを見て、心のどこかに打たれました。大きな世界のあっちこっちから来た若者達が同じ笑顔で同じ海と同じ風景を見ている。国籍や言語などの違いが全部なくなったこの鎌倉の海で、世界は小さくなっているのではないのでしょうか。海って本当に不思議なところでした。

最後の目的は鎌倉大仏でした。大門から入ると、巨大な仏像がそのまま座っています。あんまりに大きいので、ふっと自分の小ささを感じて、畏敬の気持ちも生じてきました。好奇心の下に、私が20円を払って大仏の像内に覗いてみました。像内は空洞で、約30人が入れるようです。照明がないから暗いが、その暗さから生まれた神秘感がより一層上がってきています。私が像内の説明を読んで、古人の知恵に再び感じしていました。

帰り道では、一日中テンション高くわいわいしていた若者達が、やっと静かになりました。みんな寝ています。私も窓から再びこのますます遠くなっていった鎌倉の町を見て、700年くらい前のこの町の様子を想像しながら、知らず知らずのうちに寝てしまいました。

## 日常からの開放 ～鎌倉観光日記～

外国語学部スペイン語専攻3年  
坪井 利旺葉 ノリコ

鎌倉への日帰り旅行は新宿からスタートした。雨がポツポツ降っており、天気回復を祈りながらバスに乗り込んだ。バスでの国際色豊かな自己紹介の後、用意されたお菓子を食べながら、各々トランプをしたり、おしゃべりしたりと親睦を深めた。

最初の観光スポット建長寺に到着する頃には、天候が悪かったことを忘れるほどの陽気になっており、Tシャツに短パン姿の留学生も少なくなかった。ここで

は建築物や展示物を駆け足で見た後、すぐに移動しなければならなかったが、境内の法堂にあるパキスタンから寄贈された釈迦苦行像のレプリカと天井画の雲龍図が特に印象に残った。

次は観光客でごった返している鶴岡八幡宮へ向かった。休日で、屋台も出ており、にぎわっている敷地内を歩きながら、ちょっと町にアイスクリームを買いに足を伸ばす留学生の姿も見られた。鶴岡八幡宮の社前の参道は海へ一直線につながっており、整備の行き届いた道は「日本の100選」に選出されているのが納得できるものであった。大石段を上った先にある国の重要文化財に指定されている大宮など鎌倉有数の観光スポットを満喫した。

その後は、みんながお待ちかねのランチ！海に近いホテルのレストランで鎌倉の海の幸を豊富に使ったプチ会席を堪能し、海へ直行。風が強く、潮の匂いが充満するなかで待ちきれない者は海のほうへ走った。多くの留学生が三月の冷たい海に足をバシャバシャさせてはしゃいでおり、本格的に濡れる前に歩いて次の目的地を目指すことにした。

鎌倉の個性的なお店が所々にフツと現れる路地を抜け、鎌倉の町を走るかわいい江ノ電にも偶然遭遇した後、目的地の長谷寺に到着。長谷寺は様々な春花が咲き誇り寺というより庭園という印象をまず受けた。境内でも高低差があり、上のほうへ行くと鎌倉の素晴らしいパノラマが一望できた。庭園という印象を受けた境内にはほところどころ仏様が居り、観光客に混じってオレンジ色の僧衣を身に着けたアジアからのお坊さんと見受けられる方もいて、由緒正しきお寺なのだと思います。さらにここには弁天堂という洞窟があり、洞窟の石に掘り込まれた弁天様やその眷属の像だけでなく、10センチほどの多数の仏像が所狭しとお供えとされており、ここでは迷子になりたくないなと少しどきどきしながら、その場を後にした。

最後の観光スポットは、鎌倉といえば、大仏ということで高德院へ向かった。大仏の前で全体の記念撮影をした後、大仏へ直行。総高13.35メートルの像内に入れる大仏は留学生も気に入ってくれたと思うが、筆者の6歳の時の記憶より、当然であるが、像内は狭かった。もし、歩き出すかもしれない時のために小学生が作った巨大草履があるファンシーな場所を後にして、

一行はバスへ戻った。お世話になったOB・OGさんを見送った後、バスは遊び疲れてうとうとする者たちを静かに新宿へ送り届けて、留学生の楽しい一日は大満足に終わったのだった。

## Request from student!

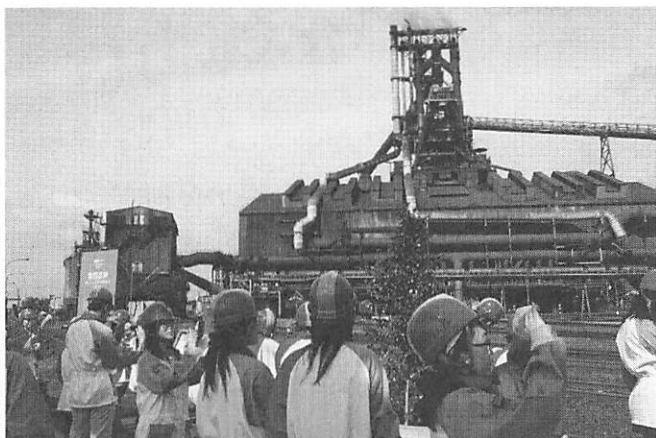
冬休み、春休み、夏休みなど授業がお休みの期間中、地方でのホームステイ希望の留学生がいます。(広島、北海道など)受け入れ可能な会員の方があればご連絡ください。もちろん、その他の地域の方でもご協力いただければ、幸いです。

連絡先:

umeda\_yumiko@tufs.ac.jp

042-330-5183(火、水、金のみ、梅田まで)

### 4-3 現代日本の先端技術紹介 (工場見学) 第一弾



(↑本格的な工場見学にびっくり。圧巻でした。)

## “鉄の誕生ストーリー 製鉄所見学”実施報告

幹事 中村 皓一

### I. 実施内容

日時 2月22日(金) 9:00~17:30

参加者 留学生26名、日本人学生10名、幹事9名  
計45名

行程 9:25浜松町出発~

10:25新日鉄住金君津製鉄所到着~

11:00製鉄所 工場見学

原料ヤード→溶鉱炉(全員で記念撮影) →  
連続铸造→熱延

13:20製鉄所出発

14:00久留里地区到着

湧水(日本名水100選)→真勝寺(最後の久留里城主墓)

14:40酒蔵 吉崎酒造 見学→試飲

16:00現地出発

17:20浜松町到着 解散

### II. 行程詳細

#### 1. 行程選択背景

今年度、初めて企画した“現代日本の先端技術紹介”として、まず第一回は産業のコメと言われる鉄の製造現場を実地見学することとし、近隣の新日鉄住金/君津製鉄所を訪問した。鉄は学生にとっては身近でありながらもその製造過程については殆ど触れる機会もないと判断して選択した。また、午後は房総半島の中央部に位置する古き町である久留里を訪ね、まず久留里ボランティア・ガイドからのご案内を受け、その後に日本酒酒蔵/吉崎酒造を見学することを企画した。

#### 2. 個別見学概要

① 君津製鉄所世界 最大級の規模を有する製鉄所が東京湾の中に存在するという事も含め、東西5km,南北2km(東京ドーム220個分に相当)という巨大な製鉄所に一同圧倒された。最初に通常は見学できない原料ヤードで鉄鉱石、石炭、そして石灰岩という鉄造りの3大原料の山を見ることができた。次に世界最大級(高さ120m)の溶鉱炉の間近に立ち寄り、

全員で記念写真撮影。ここは今上天皇が御来臨された際に特別に作られたいわゆる“お立ち台”だそうだ。次に製鋼工程の連続铸造工程後面(鋼片切断)で連続的に铸造されながら停止せずにトーチカッターで切断されるシーンに釘付け。そして最後はこの鋼片を3台の粗圧延機と7台の仕上圧延機とで一気にコイルにまで変える熱延工程に案内された

が、ここはかつて中国の指導者であった鄧小平が見学したラインだという。

## ② 久留里地区訪問

まずはボランティア・ガイドから 日本名水100選(千葉県では唯一)の自然湧水場に案内され、地下600m から湧く地下水を全員喜んで味わった。次に真勝寺にて最後の久留里城主の墓(黒田)を見学してよいよ酒蔵/吉崎酒造へ。ここは 1624 年創業という超老舗、残念ながら前日で仕込みの杜氏達が仕事を終えてしまったということであったが、仕込まれた樽を中心に設備や貯蔵庫を見せていただいた。古き日本の酒造りの伝統をそのまま失うことなく引き継いだ風情にしばし感嘆。そしてお待ちかねの試飲！小さな持ち帰り可のお猪口を全員が頂戴し、皆我先にと約10種類のお酒に飛びついた。搾りたてでややアルコール度数の高いものから、マイルドなものまでよりどりみどり……。お土産に購入する者も多かった。



(↑熱心に観察する留学生。飲んでもよい人はごちそうになりました。)

## Ⅲ. 反省と課題

1. 集合:浜松町 9:00 という早い時間での集合にやや懸念があったが、事前の電話再確認が定着したせいか、ドタキャンゼロという好成績であった。ただ、北口と南口とを間違えたケースが複数あり、募集時に地図を配布すべきであった。
2. ルート:初めてアクアラインを通った者も多く、結果

としてアクアライン通行という体験ができた。

3. 製鉄所見学:時間の関係と先方の操業状況とで若干見学ルートの変更があったが、鉄造りを実感するという趣旨は全うできた。見学後の質問も留学生を中心に活発な質問がなされたことで先方にも好印象を与えた。
4. 久留里探索:東京から約一時間という場所とは思えない奥深い感じのする地を留学生に見て貰った。酒蔵は杜氏の作業見学は一日遅れで逃したが、ご主人の丁寧な対応はありがたかった。
5. 全体を通じた課題

- ① 年度内開催を目指したためにこの時期となってしまったが、留学生・日本人学生ともに転校、試験・レポート等で落ち着かない時期であったことで、募集人員確保に苦慮した。次回は他の行事との関係を見ながらより適切な時期を選択する必要あり。
- ② 中村の不慣れ故に、種々の準備に関して関係幹事各位への連絡が十分でなく、余分なご心配かけ、またご配慮をいただいた。支援の会室の日記によりこまめに進捗報告すべきであった。
- ③ 次回は鉄の需要先の自動車業界から、HONDA(埼玉県和光市)を企画したい。

ご入会、ご寄付  
ご協力いただき、ありがとうございます

**316名** の方々に新入会員として  
ご協力いただきます。

# 新規加入者

## ■ 協賛会員(平成25年2月11日～25年5月31日)

(敬称略) 遠田範子

## ■ 一般会員(平成25年2月11日～25年6月18日)

(敬称略)

青木信義	植田益弘	川崎哲也	小松歩美香	園田隆一	永田眞裕	藤田真子	谷藤瑞季
青山義徳	氏原雄司	川嶋徹	小松増美	田尾あずさ	長友博	藤原健太	箭内清美
浅井麻理	臼井文子	川戸基	小松真弓	高島賢幸	長縄豊志	藤原悦恵	柳澤芽衣
浅田理沙	宇野幹彦	川原七星	小山裕一朗	高田雄吾	中根総一郎	古里芙海	柳田司
安島正人	浦田和幸	川村敦	近藤哲夫	高野晴美	中村洋一	古島清史	柳瀬一友
阿部妃美子	浦田洋	河村雄一	近藤雅洋	高橋拓也	南雲博	屏忠勝	矢野貴徳
阿部哲也	漆戸理	川本夢子	齋藤あずさ	高橋みゆき	夏苺弘幸	北條栄治	山内浩一
天野俊寿	江本信泉	川森清	齋藤祐一	高秀憲明	中山美由紀	帆苺彩	山際大
新井慧	大内千里	神戸稔	齊藤稔	高山武典	行川浩史	細貝優作	山口亨一
新井浩之	大河由紀	菊地香穂	堺靖也	田口弘樹	成田光	細谷富美江	山下二郎
飯島健造	大川原佳奈	菊地紗希	酒井宏幸	竹内朋子	西上玄晟	堀川邦男	山田健三
飯島主税	太田昇	北見英俊	坂内久哲	竹内幸夫	西田幸美	本間英章	山田栄央
伊賀丈晃	大塚公也	木村龍也	榮紅	田島暁雄	新田毅彦	前田徹	山田美世
池田浩之	大西美怜	木村緋奈子	榊原麻起子	辰野徹	根本紀子	前田直美	山根由樹
池田安生	大畑静佳	桐原英夫	坂本夕美子	立石博高	根本玲子	前田美保子	山本功
池田康浩	大平茜	工藤幸一	佐久間千鶴子	立松美沙子	野澤力	牧野史明	山本克己
石井健司	岡田英治	久保佳織	佐久間美知	田中康司	橋爪梢	牧本浩治	山本智子
石井則子	岡田拓也	窪田眞之	佐々木寛	田中稚奈	橋爪淳一郎	真崎利幸	山本益示
石川一元	岡千尋	黒沢智久	笹原 秋	田中弘幸	橋本彩寧	増澤僚一	湯浅晶子
石川省吾	岡本知佳	栗野尊 ※1)	佐藤しろみ	田中麻莉	橋本道範	松井義隆	横山菜々
石川哲男	小河原由梨	桑原駿	佐藤秀実	谷哲也	蜂須賀進	松岡大	吉岡奈穂子
石川理恵	沖山真秀子	桑山萌	佐藤雅弘	田浦明里	服部杏紀	松岡哲也	吉田昌明
石津秀雄	長内和夫	小池咲	佐藤弥佳	田村紀子	羽生田次男	松本俊	吉本真理子
石前幸江	忍田茉優	小泉和生	佐山毅	塚本巧	馬場正	松本美里	四本研祥
石本栄次	小田原佐代	小出正敏	澤松宝	塚本敏博	林弘晃	的場彩織	李慶一
石山孝之	柿野愛美	高坂建二	ジェラルド スミス	土谷昭	林万稚	丸山百合子	渡邊孝始
磯貝泉	學之紗英	神足文子	塩津正士	都築慶一	原山照幸	三木伸一	渡邊帆美
市川達夫	加地匡純	河野賢太	篠寄知子	角田史年	東山彩加	溝呂木清司	渡辺政美
市原瑞穂	樫村義一	河野文昭	清水一樹	角田好隆	樋上嘉子	宮城由	
伊藤裕明	片野田智樹	河野勝	下小菌由佳	角田好隆	樋口未来	宮澤政雄	
伊藤正人	加藤雅志	河面智之	白石晴美	鶴野創子	日高文昭	村尾伸樹	
井上藍	加藤円	高良和義	菅谷奈々	寺島芙由	平出浩伸	村津颯	
井上一広	金井花	古賀千遥	杉本章	寺田孝昭	平野弘史	村松甲吉	
井ノ口徹	金沢浩明	古賀尚子	杉山信弘	照屋伶奈	平野幸雄	村山健一郎	
今井辰己	金丸晃司	古木晃	杉山比呂美	遠山純一	廣瀬奈美	本吉悦理	
今井徳保	金山純平	小嶋紗代	鈴木彩音	戸高航平	深井順子	森川栄一	
入江彰	金谷利佳	児玉健	鈴木克寿	富石誠大	福井愛里	諸星直喜	
入口励	金本桃子	小西亜宇基	鈴木奏絵	内藤陸	福岡志保	門秀麗	
岩下政史	亀上楓	小林健人	鈴木沙彩	長廻正	福岡大夢	八木はるか	
岩田玲子	鴨澤研二	小林太郎	鈴木孝夫	永末志保	福岡清敬	八木秀幸	
上澤幹夫	川上眞	小林嘉嗣	角篤	中田晃	藤尾啓一	安本隆	

※1) 異体字のため正しく表記されていない場合があります。



42  
+ 6  
-----  
252  
29  
-----  
281



## 会員寄付者

### ■ 一般寄付(平成25年2月13日～25年6月7日)

(敬称略) 池端雪浦、井手真知子、植村淳子、  
大山幸房、鎌原正直、河野勝、瑞應寺(中島剣山)、  
田島暁雄、西田幸美、長谷川孝、堀川真由美、松井清治、  
宮崎昌子

万一お名前に間違いがありましたらお詫びいたします。その節は、  
当会までお知らせ下されば幸いです。

♪ 早速ですがオ・ネ・ガ・イ ♪

## 平成25年度 会費納入のお願い 随時受付

5月31日締め  
会員数:1, 978名

すべての活動は、皆様の年会費とご寄付で行われております。本年度会費を同封の振込用紙にてお振込くださいます様、お願い申し上げます。

※ ひとりでも多くの方々の早期納入のご協力をお願い致します。

※ 振込用紙にメールアドレスをお書き添えただければ、今後、当会の各種イベントなどの情報をお届けしていきます。

一般会員:年会費 3,000 円  
協賛会員:年会費 20,000 円

## ACTIVITIES

### 5. これからの活動

※ これからの活動について、会報がお手元に届く日付によっては、既に終了してしまった企画がある場合がございます。ご了承いただきたくお願い申し上げます。

1

### 秋期(10月期) バザー開催

10月1日(火)～10月2日(水)

場 所:国際交流会館2号館交流ホール

ご協力いただき、留学生に毎回大変好評いただいております秋期(10月期)バザー開催に向け、**別紙ピンク色の印刷物**をご確認の上、ご準備、ご手配いいただきたくお願いをお願い申し上げます。

バザー用品受付:9月24日(火)～9月30日(月)



## JOIN FOR BAZAAR!



**お願い** バザーの人手が足りません!ご協力を!  
バザー用品の物品仕分けや、準備・後片付けをする  
人手のご協力をお待ちします。

当日のお手伝い・参加可能な方は、当会または  
下記までご連絡下さい。

042-330-5183 (火、水、金のみ、梅田まで)

### 幹事会

下記のとおり幹事会を開催しました。

平成24年12月9日(日)

平成25年1月13日(日)

平成25年2月24日(日)

平成25年3月24日(日)

平成25年4月は台風の為中止

平成25年5月19日(日)

平成25年6月22日(土)予定

会費納入の継続をお願い申し上げます！

留学生の笑顔で、私たちも笑顔になりたいものです。

ご協力お願いいたします。



ご意見、感想など、会報への  
**投稿募集** どんどん  
お寄せ下さい

当会へのご意見、ホームビジットやイベントに関するの感想文など、会報への投稿をお待ちしております。  
お気軽にお問い合わせ下さい。

## HOME VISIT & STAY

♪ ホームビジット、ホームステイ受け入れに関心のある方は是非、当会にお問い合わせ下さい。

首都圏などでのホームステイ受け入れに加えて、地方の方々のお申し出もお待ちしております。といたします。  
のは、留学生たちは、日本の地方の文化に触れ、生活してみたいという希望もまた多いからです。

通常 6 月中旬には発刊しております本会報ですが、今回事業により発行が遅れました事、お詫び申し上げます。

<お問い合わせ先>

〒183-8534 東京都府中市朝日町3-11-1  
東京外国語大学 留学生課気付（梅田、谷川）

TEL : 042-330-5183、5759

FAX : 042-330-5189、5762

<http://www.facebook.com/tufs.issa2>

©Copyright 2013, TUFIS International Student Support Association

# 東京外国語大学 留学生支援の会

No.44

年3回発行

Since 1999

## 会報

Pick Up  
Event 2013

留学生の声 ぜひお読みください！(15ページ～参照)

フィンランドからの留学生さんがメールと感想を寄せてくれました。“囲碁を通じて色々な人につながる事ができました。”という言葉が印象的です。

♪今年も、“国際交流のタベ”で留学生と交流しませんか！ 留学生との交流には必ず発見があります。お楽しみあれ！12月13日(金)(18ページ参照)

〒183-8534 東京都府中市朝日町 3-11-1 東京外国語大学留学生課気付 TEL 042-330-5183 FAX 042-330-5189

<http://www.facebook.com/tufs.issa2>

## INSIDE

- Page 1. 1. 巻頭言  
Page 2. 2. ご挨拶  
Page 3. 3. 活動報告  
3-1 歌舞伎鑑賞教室と懇親茶話会  
3-2 七夕茶会  
3-3 各国文化紹介  
—お茶とお菓子を通して  
3-4 国際理解教育  
3-5 10月期バザー  
3-6 地域交流  
3-7 工場見学  
3-8 東京下町文化体験ツアー  
Page 10. 4. ホームビジット&ホームステイ  
4-1 富士の国留学生ツアー  
4-2 ホームステイ ホスト報告  
4-3 兵庫のホームステイ  
Page 15. 5. 留学生の声  
東外大での囲碁  
Page 16. 6. 会員の声  
韓国から来たウンミちゃん  
Page 18. 7. これからの活動

## FOCUS

### 1. 巻頭言

#### 府中グローバルキャンパス

東京外国語大学理事  
村上 光一

つい数年前には自分では考えもしなかった先の展開というものがある。私が卒業から半世紀たったいま、母校の大学で理事という仕事を拝命しているのも、まさにその思いもかけぬ人生の展開というもので、正直不思議なご縁としか言いようがない。

あれは四年前、私が理事を拝命しての最初の学校行事で、9月終了の国費外国人留学生の修了式のことだった。あの日50人近い外国人留学生が修了証書を受け取ったと記憶するが、最後にコース別にそれぞれの留学生代表が日本語で謝辞を述べた。あの時の驚きは忘れられない。なにが驚きとって、留学生たちの日本語のすてきだったこと。大学や先生への感謝。日本への思い。短い在学期間で習得されたであろう彼らの美しい言葉をききながら、この大学が果たしている大きな役割を実感できてなんだか嬉しくなった

のを覚えている。

それにしても時代の流れを感じないではいけない。私が在学していた50年前のキャンパスでは外国人学生の姿を見かけることはまずなかった。大学で見かける外国人といえば、語学の専任教授くらいだったのではないか。留学課で調べてもらったのだが、本学で留学生を受け入れるようになったのは1954年。その年の留学生数は、フィリピンの学生三名と中国籍の私費留学生一名の計四名だったという。わたしの入学はそれから四年後のことだが、状況はそんなに変わってはいなかったはずだ。多分外国人学生はせいぜいニケタにのったくらいだったろう。先日亀山先生がドナルド・キーン氏との対談の席で、自分が接したロシア人といえば、ずっとロシア語教授だけだった、とお話されるのをきいて、母校は結構永いあいだそんなだったのかとおかしかった。

それがいまは、600人近い外国人学生がキャンパスで共に学んでいるわけである。留日センターも共同利用拠点に認定され、留学生会館も3号館が稼働しやすなど、留学生に取り組み大枠はひとまず完成したように思える。

となると、これから全学で取り組むべきは、このキャンパスで外国人学生と日本人学生がおなじ学友として日常的に交流する風土をしっかりと根付かせることだろう。数号前のこの会報で、小林幸江先生が、キャンパスでの国際交流の推進は、すなわち身近なグローバル人材の養成にもつながる、と述べられておられるが、まったくそのとおりのことだと思う。昨年からの動きが加速していることはおおいに喜ばしいが、大学当局や留学生支援の会が考える企画だけではなく、まずは学生同士から具体的なI J交流への取り組みがどしどし出てくることを期待したい。学生諸君は、I J交流を学びのサポートの場としてもっと積極的に活用していくべきではないか。

この春私の知人の息子の東京外大生が専攻語のヨーロッパ某都市に短期留学に出かけた。この父親が夏休みを利用して息子の留学先をたずねたところ、まだ数ヶ月しかたってないというのに、本人はすっかり土地の人気者になっていて、毎日がささやかながらの国際交流、留学の効能は予期以上に大きかったと話してくれた。日本に来ている留学生の多くがこの外大生

と同じように日本での生活になじんでくれていたら嬉しいのだが。しかしそれには、われわれ受け入れる側の意識も大事なのではないかとこの話を聞きながら思ったことだった。

## 2. ご挨拶

### 留学生との交流から 伝統文化に魅せられた人生後半！

会長 中嶋 洋子

台風が次々に襲ってきました。日本の多くの地域で被害を受けた方々には心よりお見舞い申し上げます。会員の皆様はいかがでしたでしょうか？

私は東京在住ですので、大変強い暴風雨ではありませんでしたが、特に大きな問題はありませんでした。

しかし、急に寒い日や夏日があったりする中、私自身ついあまりかかったことのない風邪にやられ、医師から2、3日の安静を言いわたされてしまいました。現在は元気を取り戻しました。健康が身に染み込んだ経験となりました。

話は変わりますが、我が家がホストファミリーとなって多くの留学生と生活を共にしたり、当会の活動を通して大変多くの留学生と交流することは、私にとって日本文化の再発見の道でもありました。そんな中で日本人でありながら初めて歌舞伎の世界を知り、能や、狂言などの鑑賞のチャンスが私を虜にしました。

とりわけ文楽を初めて見たときの衝撃は忘れられません。

舞台の奥から私たち観客席に向かって、というより人形遣いに操られた主人公の人形が、去っていく恋人を追いかけてだんだん姿が大きく迫ってくる様子は、迫力に溢れ、人形に魂が宿っているようでした。専門的なことはわかりかねますが、自然のうちに遠近法に基づいて人形を演技させているとのことでした。

日本の古くから伝わる芸能文化には、こんな魅

力あふれる世界があったのか、と深く感動したことでした。

最近、欧州3カ国——パリ、ローマ、マドリードで、人形浄瑠璃文楽が上演されたというニュースを、この10月22日の朝日新聞紙上で知りました。

その内容の紹介に「伝統とアニメや実写を背景に用い、光と闇が交錯する現代アートでの〈世界デビュー〉だった」とありました。この演出に対して欧州では「伝統的な文楽にユニークな喜びと驚き」と評価する記事もあれば、「表面的に取り入れた現代的要素が、純粋なままで十分面白い伝統を覆い隠すように感じられた」と、失望を語る批評もあったといえます。

伝統文化はそのまま引き継がれていくべきなのか、現代化の道を進むべきなのか！今や世界を席卷する文化、日本のアニメを取り入れて蘇って欲しい、というのが私の率直な感覚ではあります。



## REPORT

### 3. 活動報告

#### 3-1 歌舞伎鑑賞教室と懇親茶話会

日時： 2013年6月9日午後2時～4時30分

場所： 国立劇場

参加者： 留学生 35名、日本人学生 20名、引率 5名

内容： 歌舞伎の見方、紅葉狩り

事前に参加予定者へ確認の連絡を入れたため、ほとんどの学生が集合時間に集まった。「紅葉狩り」は、衣装もきらびやかで、紅葉した舞台の、見た目もまさに日本的であり、常磐津・義太夫・長唄の三種類の三味線の音色の掛け合いと拍子木が一体となり、留学生にもわかりやすい内容で、「きれいだった!」、「音が日本的だと思った」という声が聞かれた。

歌舞伎鑑賞の後の懇親会は、「ホテルグランドアー

クヒル半蔵門」で持った。座席はフリーにしたが、日本人学生も積極的に話を回して、留学生も時間がたつにつれて、日本語での会話が盛り上がっていた。外大では互いに話す機会が無いと言っているのは残念なことで、支援の会連絡室をそのために有効に利用してほしいし、大学側でも、もっと積極的に対策をとってほしいと思った。

(幹事 別府 記)

### 歌舞伎という素晴らしい日本の演劇を見る 機会をありがとう

日本語・日本文化研修留学生  
グガナ・タテット・プスパニン  
(インドネシア)

国立劇場での歌舞伎は綺麗でした。

私はその歌舞伎を見るのは初めてでした。授業で歌舞伎についてのビデオを見たことがあります。歌舞伎は国の補助金をもらわないで、今までやって来られたのは歌舞伎が庶民に愛されている庶民のエンターテイメントだからです。しかし、最近歌舞伎のセリフが分からないから見に行かない若者が増えました。なので、歌舞伎座が翻訳や台詞ガイドなどを設置したり色々な工夫しています。そのビデオに、少し演劇の映像があって、綺麗だなと思って見たくくなりました。

最初は、歌舞伎についての知識がまだまだ足りないから、やはり分からなくて十分に楽しめなかったらどうしようと思いました。でも、演劇の前に、かっこいい中村隼人さんと可愛い中村虎之介(虎ちゃん)が面白く説明をしてくれました。本当によかったと思います。特に、初めて歌舞伎を見に行ったために、このような説明があれば、何も分からなかったけど、少し知識を持つようになり、本番を楽しみにしているようになりました。国の大学で、日本文学史という授業でも教わったことがあります。歌舞伎は元々女の人がやっていたが、いろいろあり、政府に禁止されるようになって、結局今、みんな男性がやるようになったと中村隼人さんが説明しました。

本番の時、更科姫が着ている衣装がすごくおしゃれで綺麗でした。更科姫役をやっている中村扇雀さんの動き方も女らしくて、豪華でした。説明の時に女

方役をやっている男性がどうやって体や動き方が女らしく見えるかを中村隼人さんが説明したが、難しいと思います。でも、中村扇雀さんが見事に更科姫をやっていました。衣装だけでなく、踊りも素晴らしかったです。膝で前に進みながら、扇子を指で回しているというシーンがありました。いっぱい稽古しなければうまくやれない動きだろうと思いました。

少し残念だと思ったのは台詞の表示のことでした。ステージの左右に表示されている訳は歌の台詞だけでした。キャラクターが言っている台詞も聞きたいですが、話し方は普通の人と違って聞けなかった部分がたくさんありました。歌だけでなく、キャラクターの台詞もステージの左右に表示されたらよかったです。しかし、演劇の前にイヤフォンガイドももらったし、案内本も読んだから話の流れが分かりました。

全体的にはすごく良かったと思います。日本の伝統的文化についても勉強になりましたし、歌舞伎はインドネシアの東部ジャワの<sup>ルードゥルック</sup>Ludrukという演劇に似ているとよく言われているから、日本だけでなく母国の伝統的な文化についてももっと知りたいと思うようになりました。歌舞伎のように素晴らしい日本の演劇を見る機会をくれた留学支援会に本当に感謝しています。

(↓初めての体験に様々な感想を抱いたようです。)



## 伝統と現代の出会い —新歌舞伎紅葉狩り

特別聴講生  
楊 雅筑 (台湾)

一ヶ月前に、留学生支援の会のおかげで歌舞伎を見に行かせていただきました。正直に言って、行く前には歌舞伎に対して、出演者は顔に白い化粧を塗ることしか知らなかったです。それどころか、伝統芸能のひとつと見なされているので、なんとなく古くて堅苦しいという感じがしました。

しかし実際に行って見ると、この間持っていたステレオタイプが一気に覆りました。

もちろん堅苦しいところを見るとすぐ分かるが、その前に想像しなかったのは伝統的な歌舞伎には、現代の視覚的・聴覚的享受も加えることができるということです。解説者が話している間に、舞台が回ったり、黒御簾や床が現れたりするのを見ると、誰でもびっくりすると思います。

今回の解説者は若くてかっこういい中村隼人と中村虎之介でした。二人の熱心に解説してくれる姿を見ながら、伝統歌舞伎を継承するには、若者の努力があるのだと考えていました。そしてふと台湾の伝統文化を思い出し、この前にはあまり関心がないことをどんどん考えるようになりました。台湾にいた時、伝統的劇、音楽、または服装について、なんとなく古くて面白くないと感じていましたが、

日本でこのような素晴らしい演劇と日本人は自分の文化を大事にする態度を見ると、自分も台湾の文化や伝統の美しさを続けていきたいと思いました。更に、今回の解説者のように、自国の人々

だけではなく、海外から来た若者にその自慢できるぐらいの伝統を紹介していきたいと思う。

去年の十二月、他団体が計画した文楽鑑賞教室に参加させていただき、すごくいい経験になりましたので、今回の歌舞伎鑑賞のポスターを見ると、なにもためらわずに申し込みました。鑑賞完了の後、支援の会の人に連れられて、ものすごく雰囲気がいいホテルに行き、午後のお茶を楽しみながら皆と歓談しました。帰る途中、留学生の友達に話して、今回の活動を計画してくれた方々に感謝の気持ちがいっぱいでした。

帰国する日まであと二ヶ月も足りないです。この間色々お世話になり、素晴らしい活動を参加させて誠にありがとうございました。今度の歌舞伎鑑賞で日本の伝統と現代の融合に出会い、いい思い出になりました。この思い出を持って帰って、台湾の家族と友達にシェアしていきたいと思います。

### 3-2 七夕茶会

#### 夏の日本文化体験 ～七夕茶会～

朝鮮語科3年 荻原 春香  
フランス語科2年 高倉 麻衣

一年に一度の行事、7月7日の七夕にちなんで、毎年裏千家茶道倶楽部では留学生を対象にしたお茶会「七夕茶会」を行っています。今年も7月9日(火)に行いました。

七夕茶会では通常の少し改まった茶会と違い、留学生の方たちを対象に気楽にお茶と日本文化を楽しんでもらうことを目的としています。今年は24名のお客様が来てくださいました。

和室には部員がとってきた笹を飾りました。お茶席に入る前後の時間を利用して短冊に願い事を書いて頂いたり、共に折り紙をしたりして留学生との交流を深め、夏の日本文化に触れられるよう工夫しました。茶道体験も行い、留学生の方たちに茶道に興味を持って頂けるようにしています。また、七夕茶会でのお点前は夏ならではの「立礼(りゅうれい)」という形をとりました。立礼では、亭主、半東、お客様たち全員が椅子に座ります。正座をしないということで正座に慣れていない留学生の方にも茶道を楽しんで頂けるようにとい

うことでこのお点前を選びました。茶道に興味を持って下さった留学生の方も多く、一席終了後に使用したお道具や掛け軸などについて質問を頂くこともありました。お菓子は夏らしく水ようかんを用意しました。お茶席では茶会ならではの緊張感のある雰囲気を残しつつも、お茶とお菓子、部員とお客様との会話もあって和やかな雰囲気を楽しむことができましたと思います。

そして七夕茶会のもう一つの名物は夏の風物詩、浴衣です。多くの部員たちが浴衣を着て、留学生の方たちにも浴衣体験をしていただきました。色とりどりの浴衣を着た人たちが日本の伝統文化に興じる様子は本当に華やかで、夏の風情を感じさせました。

七夕茶会後に留学生の皆さまに感想をいただいております。浴衣や茶道の体験にとっても喜んでくださり、お茶とお菓子も美味しかったとのお声をいただきました。やはりお茶会を初めて経験されるお客様が多く、皆さま「良い思い出になった」と言ってくださり、おもてなしする側としてこれほどの喜びはありません。

これを機に留学生が日本の伝統文化に興味を持ち、茶道に興味を持っていただけましたのなら幸いです。また、最後になりましたが今回の七夕茶会に際しましてご協力くださった支援の会の皆さま、暑い中、本当にありがとうございました。

### 3-3 各国文化紹介—お茶とお菓子を通して

日時:7月10日(水) 11時50分～

会場:アゴラ・グローバル カフェ カスタリア

留学生支援の会では2005年から毎年2回、留学生による各国文化紹介のイベントを実施してきましたが、今年度も7月10日(水)11時50分からアゴラグローバル Café Castalia で実施しました。

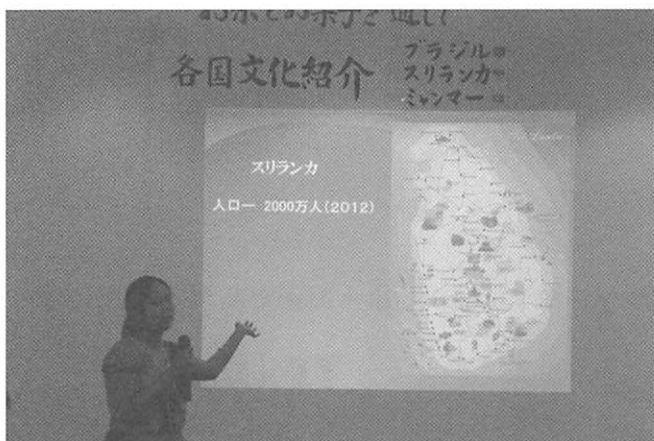
立石学長のご挨拶の後、ブラジル、スリランカ、ミャンマーの三カ国の留学生が、パワーポイントを使いながら自国の文化紹介の5分ずつのプレゼンテーションを行ないました。その後、それぞれ三つのブースに分かれて、前日までに国から取り寄せたり、新大久保のお店で購入したりして用意した、それぞれの国で一般的に飲食されている飲み物、お菓子、サラダなどを味わってもらいながら、プレゼンの内容や、お菓子の材料、作り方など、大勢の来場者の質問に答えながら楽

しく交流をしていました。

毎回250人を超える参加者が、今回は、テストの時期と重なったせいも、留学生、日本人学生合わせて200人と例年より少なく、ランチのサンドも残って残念でしたが、食文化を通じての交流は、相互理解を深める最良の方法だと思います。次回はもっと大勢の来場を期待しています。(幹事 梅田 記)



(↑立石学長もかけつけてくれました。)



(↑熱心に説明する留学生。)

### 3-4 国際理解教育

#### 東京都町田市立真光寺中学校の 国際理解教育への留学生派遣

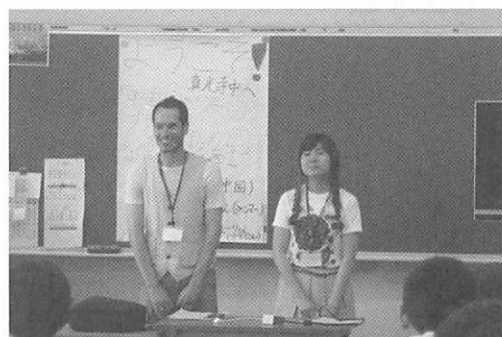
日時: 2013年7月13日(土) 9:30~12:00  
参加留学生: 2名 ブラジル, ミャンマー  
内容: 中学1年生を対象に自国の紹介  
当日の様子等:

真光寺中学校は、1988年から年1回「国際交流の日」としての行事が続いている学校で今年のテーマは

「We Are The One ~絆でつながる1つの世界~」で、実行委員の生徒が進行を進めていた。

1年生は、「アジアの国々を知ろう」2年生は「世界の国々を知ろう」3年生は「日本を知り、世界とのつながりを知ろう」というテーマのもと、東京外国語大学の国際理解教育学生団体「くらふと」や国士舘大学の留学生、JAIK、日本ユニセフ協会その他いくつかのNPO団体などの方々が講師となり、各学年4~5の分科会形式で行われていた。留学生支援の会も、ここ数年毎年留学生を派遣し協力している。

東外大の留学生は、1年生の「ミャンマー・ブラジルを旅するなら」の分科会で講師を担当し、ブラジルの留学生は、「リオのカーニバル」の紹介、ミャンマーの留学生は、「仏教国ミャンマーの紹介、主な観光地の紹介」を行った。映像や写真を見せながらの紹介で、生徒たちも趣向を凝らしたカーニバルの映像を興味深く見ていた。(幹事 直島 記)



(↑ちょっと緊張するも笑顔の留学生。)

#### 国際理解教育 ~留学生との交流授業~

今年度も川崎市立はるひ野中学校より、1年生の総合的な学習の時間に行われる交流授業の依頼をいただき、7月4日、第一回目の授業にブラジル、インドネシア、フィンランドの留学生が伺いました。

母国の文化と言語についてパワーポイントを使いながら紹介。

簡単インドネシア語講座では、御飯はナシ、お菓子はクエ...と日本語に続けてインドネシア語を読むとユニークで、記憶に残りそうな単語を披露し、生徒の皆さんの笑いを誘いとても楽しそうでした。

この他、ブラジルのアマゾンに生息する珍しい生物に関してや、フィンランドの中学生の生活についてな

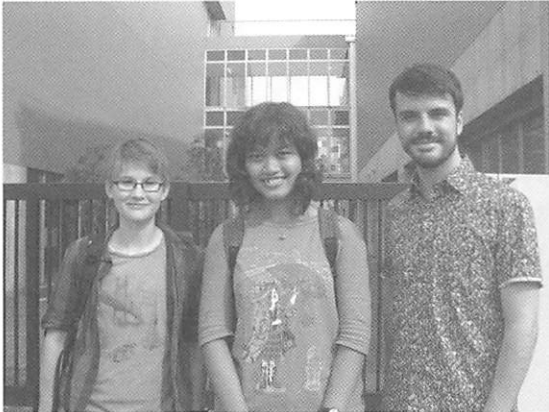


ど盛りだくさんで興味深い発表をしてくれました。

始まる前はとても緊張していた留学生達でしたが、最後には堂々としていて、終了後は 本当に楽しかった、たくさん質問して貰えて嬉しかった、機会があればまたやりたかったと笑顔で話してくれました。

3名ともこの秋帰国しましたが、留学生活最後の貴重な思い出になったことと思います。

(幹事協力者 利光 記)



(↑それぞれ興味深い話を披露してくれました。)



(↑簡単インドネシア語講座では笑いも誘いました。)

### 3-5 10月期バザー

#### 2013年秋期バザーへのご協力

#### ありがとうございました

東京外国語大学留学生支援の会

夏の暑さが残ったまま台風と共に秋がやってきました。皆様、お変わりなくお過ごしでしょうか。

今年も秋学期がスタートし、122名の留学生が42カ国から入学して来ました。

新たに生活を始める留学生の支援のために、秋季

バザーを昨年と同じく時期を早めて、10月1日～2日の2日間、交流会館2号館の交流ホールで開催しました。

今季も、多くの会員、大学関係者の方々が多種多様な品物を送って下さいました。

新品の電器釜、電子レンジ、掃除機、アイロン、電子辞書等の電気製品、寝具、タオル、文房具、靴、冬物の衣類、着物、机、本箱、手作りのエプロン、甚べえ、台所用品、日用品など、会場に収めきれないほど沢山ありました。書籍類は、思いのほか少なかったです。

掲示やオリエンテーションでの説明だけでなく、前もってチラシを配布したことなどが功を奏して、留学生は2日間で250人ほどが参加しました。

今回は、新品の電気製品は1,000円～500円で抽選にしました。その他はみな100円以下、書籍は無料で配布しました。参加した留学生たちは、新しい生活を始めるのに必要なものが、バザーでそろえられることがとても嬉しい、先輩に聞いていたとおりの、ほかの大学では考えられない等と言って、色々と手に取ってはバザーを楽しんでいました。

今期は料理を自分でする学生が多いとみえて、お鍋や、フライパン、お米、パスタなど、すぐになくなりました。お布団、毛布なども大人気でした。着物を試着して、帯、羽織などセットで揃えた留学生、日本語関係の書籍や絵本、辞書など沢山選んで帰っていく留学生など、みな喜んで、感謝していました。支援の会の担当者としても、役に立てて良かった、皆様のご協力のおかげと、疲れなど吹き飛ばしてしまいました。

最後に、お皿やコップ、台所用品、若者向きでない衣類、書籍類などが幾分残りましたが、次のバザーに回すことにしました。

バザーの収益金は、94,000円でした。

いつもながら毎回、送料もいとわず、様々な品物を提供して下さいました。皆様には、留学生ともども心から感謝申し上げます。(幹事 梅田 記)

## Thank you!

## ありがとうございました



(↑毎回たくさんの品があつまり、熱心に手にとる留学生。)

### 3-6 地域交流

#### 多摩駅商店街のふれあい祭りで 地域の人々と楽しく交流

留学生日本語教育センター  
アシケヴィチ・ナターリヤ (ロシア)

2013年10月4日多磨駅の近くでふれあい祭りが行われました。東京外国語大学の4人の留学生がお祭りでアルバイトとして手伝うことを頼まれました。私もその内の一人でした。とてもいい経験になったと思います。

お祭りは5時間にわたって行われて、私たちはそれぞれの仕事をしました。たとえば、私ともう一人の学生は宝くじに当たった方にお花をあげるという仕事をしました。他の二人は宝くじのところで働いて、もう一人は料理を作るという仕事をしました。

仕事のうちに、いろんな人と出会って、話したり、コンサートも見たりすることができました。新しい知り合いもたくさんできました。一緒に働いた方はみんなやさしくて、分からないことがあったら手伝ったり、教えたりしてくださいました。

お祭りの最後に、日本の伝統的な舞踊までやることができました。とても楽しかったです。仕事は面白くて、いい勉強にもなりましたので、こういった経験ができて本当にありがたいです。



### 3-7 工場見学

会報43号に、当会初めての企画である工場見学の活動報告をしましたが、その要点を再度下記にまとめ、同時にその時の学生の感想文を掲載します。

#### 鉄の誕生ストーリー 製鉄所見学

日時 2月22日(金) 9:00~17:30  
 参加者 留学生26名、日本人学生10名、幹事9名  
 計45名  
 行程 9:25浜松町出発~  
 10:25新日鉄住金君津製鉄所到着~  
 11:00製鉄所 工場見学  
 原料ヤード→溶鉱炉(全員で記念撮影) →  
 連続鑄造→熱延  
 13:20製鉄所出発  
 14:00久留里地区到着  
 湧水(日本名水100選)→真勝寺(最後の久留里城主墓)  
 14:40酒蔵 吉崎酒造 見学→試飲  
 16:00現地出発  
 17:20浜松町到着 解散  
 (幹事 中村 記)



## 溶鉱炉を見て、鉄が大好きになりました！

大学院生

倪柳（に・りゅう）（中国）

以前、鉄に対しては「冷たい」、「硬い」というようなイメージしかなかったのですが、自分には遠い世界の存在として捉えてしまいました。が、今回の見学で鉄の熱さと千変万化な姿に圧倒されて鉄に対するイメージが一変し、鉄という新しい世界を発見できたことに感動を覚え、鉄が大好きになりました。

私は、日本経済新聞社による企業総合力評価で、新日鉄住金㈱は社会貢献度1位となつているところから、新日鉄住金に関心をひかれました。日本留学に際し、日中両国の政治関係が何かにつけて自分の生活に影響を及ぼしていることが感じられます。前向きな思考を持って生きていきたいと思う以上、やはり影響される一方でなく、自ら影響を与えていくものに参加したいと考え、社会貢献活動と結びつけました。社会貢献活動のなかでも、日本や中国の文化事情をお互いに伝達しあうことによって、相手に対する理解を深めることに自分なりの貢献ができればと願っています。そのため、会社に対する関心を持った上、積極的に留学生交流活動に参加するように今回の見学に申し込みました。

実際、製鉄所に入りましたら、自覚していたかけ橋の「使命」をすっかり忘れ、ただただ鉄に魅了されるばかりでした。大きな真っ赤な鉄の塊が目の前を歩いて行く時に伝わってくる熱、スラブ切断の瞬間と熱延コイルの長い鉄板からバームクーヘンのように巻きあがっていく姿など、いずれも鉄に対する「冷たい」、「硬い」というイメージをひっくり返すものでした。また、これだけ大きな製鉄所なのに従業員たちのせわしなくぎわう場面がないことから、稼働率が低調で少しダイナミックさに欠けていると思ったら、実は工場の煙突から水蒸気が出ているのが見えたらそれは工場が稼働している証拠だ、という案内の方からの説明を聞き、「なるほど！」と思わずうなずきました。

工場敷地内では、地面が常に濡れていることについて、原料類の粉末が周辺地域に吹き飛ばされないようにするため、との説明を聞き、実際に散水車が水をまいてくるのを見かけました。環境対策において、き

っと散水車よりハイテックな取り組みがたくさんあると思いますが、耳で素晴らしい技術の説明を受けるよりは、このように自分の目で見たり、肌で感じたりした方が、感動が身にしみて伝わるものだと思います。

今回の見学は、自分が主体的に交流を図ろうとしたものでしたが、「鉄」という世界から受けたカルチャーショックが予想を超え、自分に刺激を与えました。文化交流による社会貢献は、まさにこの通りだと思います。文化を発信することだけでなく、新しい分野の魅力を発見し、積極的に異文化と触れあうことを通じて、異文化理解が深まっていくことだと気がつき、改めて鉄の世界に触れてよかったと思いました。

## 新たな発見、新たな出会い

欧米第二課程スペイン語専攻2年  
高橋 菜里

『溶鉱炉を見に行こう！』。外国のこと、言語のこと、授業のことなどであふれている外大の掲示板の中でそのタイトルが一際目立っていた。理系向けの内容なのではないか…と興味本位に詳細を読むと、留学生との交流もできると知り、知らない分野のことを知れるだけでなく新しい出会いも期待できると思い参加することにした。

当日、最初に訪れたのは君津製鉄所であった。バスの窓からモクモクと煙（実は水蒸気）が見え、あれが工場だと知るとなんだかワクワクした。初めに、製鉄所で行われる作業の説明が行われた。映像で説明していただいたあと、バスで工場内をぐるりと回って、高炉や熱延工場を見学した。特に印象的だったのが熱延工場である。高温の鉄が延ばされていく工程とその鉄から発せられる熱気が印象的であった。工場内の鉄の熱気が、外の冷たい風で冷えた体を温めてくれるような気がした。しかし、夏期の仕事の様子についての説明を聞いてこの熱気の怖さというのを感じた。夏は熱中症にならないように、水分補給と塩は欠かせないのだという。夏に大量の汗をかきながら働く現場の方々の姿が想像でき、仕事の大変さを感じた。

久留里地区散策では、久留里という場所が「城と生きた水の里」ということで、地元の人がたくさんの容器を持って水汲み場においておいしい水を汲みに来ている現

場に遭遇し、その水が地元でどれほど重宝されているのかを知った。また、ガイドの方々の日本語での説明をスペインの留学生にちょっとだけ通訳した。今回久留里城を見られなかったのは残念だったが、ボランティアの方々の案内のおかげで楽しく回る事ができ、自分のスペイン語が通じた喜びを感じることができた。

酒蔵では、普段見ることのできない酒を作る器具を間近で見ることができ、各工程で用いられる道具を1つ1つ丁寧に教えていただいた。私はお酒初心者で、日本酒の美味しさの違いが分かるのか疑問であったが、試飲の際に飲み比べてみたところ、自分の好みの味を見つけることができ、少しだけ大人になった自分を見つけることができた。

日本の工場、日本の町、日本の酒蔵。日本人の私でさえ、今まで知らなかったことや新しい発見がたくさんあった。留学生の方々も新しい視点から日本の良さを発見することができたのではないだろうか。また、普段なかなか多くの留学生と触れ合う機会がないので、今回の出会いはとても貴重なものとなった。今後もこのような機会があればぜひ積極的に参加したい。

### 3-8 東京下町文化体験ツアー

～隅田川クルーズ、浅草散策、  
江戸東京博物館、ちゃんこ鍋懇親会～

**日時** 2013年11月17日(日)  
集合時間 11時40分  
**集合場所** 東京クルーズ乗船場待合室  
**日程** 隅田川クルーズ→徒歩で両国へ  
移動→江戸東京博物館見学→  
懇親会(ちゃんこ鍋会食)

※詳細は次号に掲載予定です。



**留学生支援**

会員の皆様ひとりひとりが  
留学生の笑顔をつくります！

## EXPERIENCE

### 4. ホームビジット&ホームステイ

#### 4-1

#### 富士の国留学生ツアー

バイカモは初夏から初秋にかけて梅のような白い花を付ける水草だ。清流にしか育たず、花言葉は「幸せになります」。富士山の登山口と新幹線の駅をバスで結ぶ静岡県三島市は「バイカモの街」でもある。1970年台に絶滅したかと思われた、どぶ川の再生に地域を挙げて取り組み、劇的な復活を果たした。

8月初め、東京外国語大学の留学生17人が三島市の街中を散策した。中国の女性は「こんなきれいな水は初めて」。子どもたちが川で遊ぶ光景が信じられないという。「昔はどぶ川だった」と聞かされ、もう一度驚いた。17人は「富士の国留学生ツアー」の一行。2泊3日で富士山麓や駿河湾の観光地を見て回った。

主催者は松下宗伯(そうはく)さん(65)だ。同じ県東部、沼津市の長興寺の住職で、今回で4回目になるという。東京外国語大を卒業後、日本貿易振興機構(ジェトロ)を経て禅僧に転じた経歴の持ち主。たつての依頼から、母校で日本語や日本文化を習う留学生との交流を引き受けた。

ベトナム、エジプト、ウクライナ、チェコ…。どの留学生も思い出深い。流ちょうな日本語に毎回、感心させられるという。留学生の方は、寺の座禅体験などに引

かれるようだ。地元の個人宅などに分かれて宿泊するが、何人かは寺の離れで寝起きする。名付けて「テンプルステイ」だ。

松下さんは30年前、長興寺に腰を据えた。縁もゆかりのない地で寺の立て直しを担う。檀家を増やそうと空いた墓地の販売広告を出した。他の寺の不興を買ったが、東海道の旧宿場町の人情は、よそ者に温かかった。若い女性からはこう励まされた。「出過ぎた杭は(くい)は打たれません」

とかくお寺の敷居は高く、敬遠されがち。地域のにぎわい作りに・・・と「赤ちゃんの泣き相撲」を考案した。21年前の話だ。泣き声の元気を競う行事は初夏の風物詩となる。「ふじのくにをもっと元気にしたいですね」。次回の絵遊学性ツアーは来年の2月の予定という。

(日本経済新聞 2013年8月26日版 山本哲一記者より転載許可をとる)



(↑日本での暑い夏も良い思い出に！)

以下は、留学生からの手紙です。

### 一番魅力的なのは、やはりお寺泊まり

大学院生

ファンファン (中国)

コハウホウ (中国)

長興寺泊

今度ふじのくに留学生ツアーに参加できて、とてもよかったです。

日本に来て初めて東京を離れて、いろいろ見学して勉強になりました。

普通の旅行だとなかなか体験できないもち搗き、座禅、ホームステイや、お寺泊まりなどを三日間を手配してくださってありがとうございました。

私にとって一番魅力的なのは、やはりお寺泊まりです。日本人のお坊さんの生活を見学して、今まで中国のお坊さんが与えたイメージ、「お酒は飲まない、お肉は食べない、結婚はしない、世間から離れている」というイメージが破られて、こういう生き方をしているお坊さんもいるんだ、お坊さんってこんなに積極的に国際交流に力を貢献している方もいるんだって分かりました。今回をきっかけに、日本独特の仏教を改めて認識しました。

今日も初めて日本人の家庭に招待されて、日本人のお家を内覧させていただいて、感動しました。お子さんの写真も奥さんの日本料理も日本の伝統美を見せてくださった。食器は言うまでもなく、爪楊枝まですてきな日本紙で包んでいるのは、まさに日本人の民族精神の表れではないかと思いました。どんなに小さなことでも、まじめに完璧に、最後の一秒までやるということです。それは中国人が一番学ぶべきだと思います。

今度のツアーは大切な思い出になると思います。こんなに素晴らしいイベントをぜひ後輩の留学生たちにも紹介したいです。いろいろありがとうございました。

### 「友達にもおすすめします！」

留学生日本語教育センター

ミド (イスラエル)

長興寺泊

食事は色々前に食べたことのないものがありました。

おいしかったです。流しそうめんも昔から食べてみたかったから、とてもよかったです。

座禅について昔読んだこと少しありますが、やってみたのは初めてでした。楽しかったです。

田貫湖はとても美しかったです。富士山が見えなくて残念でしたが、霧も綺麗でした。イスラエルでは、そんなに濃い霧はみたこともありません。自然も綺麗でした。可愛い犬も会いました。でも田貫湖の「たぬき」は動物の「たぬき」ではありませんでした。朝に名前を聞いた時、動物のたぬきだと思いました。

プラネタリウムで映画を見るのは楽しかったです。普通の映画館とはまったく違います。もっとプラネタリウムのような映画館を作ったらいいと思いました。きっと人気になります。

留学生と日本人と新しい友達もできてよかったです。色々の新しいものや色々の国について聞いて面白かったです。日本の習慣についても、生活についても、色々の新しいことを習いました。

この Home stay に来る前は色々なことが心配でしたが、皆は親切で、色々ふだん出来ない経験もできて、来てとてもよかったです。機会があればまた来たいと思います。友達にもおすすめします。

### やさしくしてくれてありがとう！

留学生日本語教育センター  
ナターシャ ラシケヴィッチ (ロシア)  
猪浦宅泊

2 日間は一瞬のうちにたちましたが、たくさんの思い出を作ることができて嬉しいです。私は自然が好きな人なので、楽寿園やたぬき湖のような自然の豊かな所に行ってよかったです。日本のお寺に初めて滞在しました。座禅はとてもいいことで、普段の生活でもやってみたいと思います。

私の泊まった家族はとても親切で、一緒にご飯を食べたり、話したりして、楽しい時間を過ごしました。もっと長い時間この家で泊まることができればいいなと思いました。

2 日間に知り合いになった人は、皆親切でいい方でした。

松下さん、そんなに素敵なプログラムに参加させて

もらってありがとうございます。いろんなことを経験できました。

滝を見に行きたかったのですが、時間が遅れたせいで行けなかったでしょう。本当にすみませんでした。皆にやさしくしてくれてありがとうございました。

### おしょうさんへ

日研究生  
グエン トゥー ヒエン (ベトナム)  
大中寺泊

ベトナムからきたグエン トゥー ヒエンです。

3 日間大変お世話になりました。とてもいい思い出になりました。

東京であまり見ない笑顔はここで毎日見られて、とても感動しました。

人情があたたかいし、食べ物がおいしいし、風景がきれいだし、本当に最高でした。

機会があれば、ぜひまた戻りたいと思います。その時、またよろしくお願いします。

どうもありがとうございました。

ちなみに、1 か月後に帰国しますが、みなさん、もしベトナムに来たら、ぜひご連絡ください。ご案内します。お待ちしております。

### 人情も温かい！

研究生  
グエン・スアン・ティン (ベトナム)  
チャン・ティ・ミー (ベトナム)  
大中寺泊

松下先生、お元気ですか。ベトナム人夫妻のティンとミーでございます。

沼津にいた 3 日間、お世話になりました。

富士山が見えなかったことは残念でしたが、芭蕉の精神で自分の富士山を描いてみました。静岡県は景色が素敵だけでなく人情も温かいですね。いい思い出がたくさん出来ました。中には、長興寺の入り口に飾ってある絵に書いてある言葉、「磨いたら磨いただけの光あり」がとても印象的です。これからも本腰を入れて勉強に励んでいきます。

10月に試験があります。その試験に受かりましたら、あと2年間ぐらい日本にいられます。機会があれば、また静岡に行きたいと思います。

まだまだ暑い日が続いておりますので、お体に気をつけてお過ごしください。

松下先生のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

## 人生で忘れない思い出

I S E P

ヤン・クンスティル (チェコ)

長興寺泊

お世話になりました。三日間本当に楽しかったです。いろいろと経験して、人生で忘れない思い出を作りました。どうもありがとうございました！

お寺で泊まらせてくださって、感謝します。布団が大きくて嬉しかったです。

松下さんの話は面白くて、自分の考え方が広がりました。日本語と日本の優しい文化が大好きです。日本語の勉強をもっと頑張ります。私は松下さんを敬服しています。

佐野さんの家族はとても素敵な家族ですね。トマーシュはいつかこういう家族を欲しいと言っていました。優しいモデルのような家族ですね。私はそう思います。

三日間は毎日楽しかったです。富士山は見えなくても、素敵な観光ができました。自転車で神秘的な霧の湖の周りを走ったこともとても楽しかったです。どうもありがとうございました！

これからもよろしくお願ひ致します。

ご意見、感想など、会報への  
**投稿募集** どんどん  
お寄せ下さい

当会へのご意見、ホームビジットやイベントに関する感想文など、会報への投稿をお待ちしております。

お気軽にお問い合わせ下さい。

## 4-2

### ホームステイ ホスト報告

会員 望月 征美 (E昭43)

ペドロとガブリエルがJR小樽駅に着いたのは2013年8月21日の朝10時過ぎであった。

二人とも祖国ブラジルより来日し、日本語教育センターに在籍する若者で、同センター修了後は各自専攻分野に進むと言う。二人とも北海道は初めてで、滞在スケジュールはあらかじめ伝えてあった日程表に沿って進行した。最終日早朝、小樽駅で見送り後帰宅して普段の独り住まいに戻った時、留学生のホスト役を今回初めて何とか無事に果たした安堵感と共に、ほぼ半世紀の年齢差がある二人と本当に十分な意思疎通が出来たのか？訪問箇所等を当方の好みや思い入れで一方向的に強行したのでは？等々の反省点もある。

ペドロ君(21歳)は温暖なブラジルでは体験出来ないスキーに興味を示し、冬休みにスキー特訓で再訪の希望を述べていた。電子工学専攻のガブリエル君(20歳)は物静かで無口な青年で、ポルトガル語を解さない小生の和英半々の話をペドロの助けを借りて聴いていた。

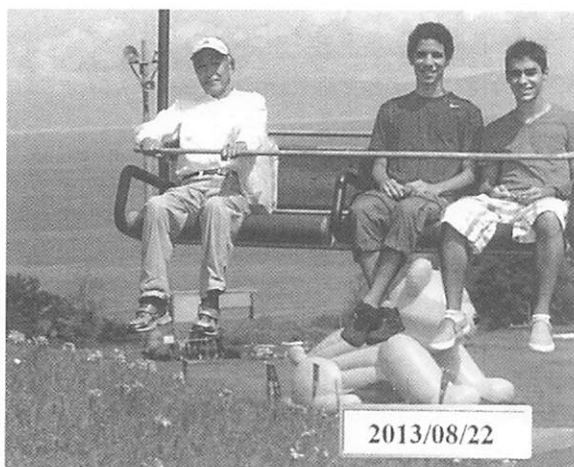
さて、滞在中の訪問箇所は、日程順に概略下記の通り。

- 1日目 夕刻、冬はスキー場となる天狗山々頂より小樽市中心部の夜景展望
- 2日目 今年オープンした市内春香山ユリ園、ここも冬はスキー場となる
- 3日目 市内祝津漁港と鯉御殿(往時栄えた大規模なニシン漁番屋の遺構)、及び北海道鉄道発祥の地、市内手宮地区と総合博物館入館
- 4日目 市内朝里川温泉で日帰り入浴体験、及び北海道ワインの醸造工場見学と製品ワインの試飲
- 5日目 日帰り札幌訪問(北大キャンパス、道立近代美術館でシャガール展鑑賞など)
- 6日目 小樽市に隣接する余市町のニッカウイスキー蒸留所見学と製品ウイスキーの試飲(二人とも強い蒸留酒は口に合わない様子であった)、更に余市町に隣接する仁木町の果樹

園地帯(町営フルーツパークで試飲したナイヤガラ種のブドウジュースは二人とも気に入った様子であった)

往路高速バス、復路 JR 利用の札幌日帰り訪問以外は、全行程小生の運転で案内した。

短期間に可能な限り様々な体験をして北国の暮しに触れて欲しい一心で、少々過密なスケジュールであったかも知れない。或いは、二人共もっと多くの別の体験を期待していたような気もする。両君の率直な体験コメントを聴かせて欲しい。



(↑北海道の夏、望月さん宅ホームステイ素敵でした！と留学生)

### 北海道の望月さん、ありがとう！

留学生日本語教育センター  
パッソス・コウテロ・ペドロ (ブラジル)  
カイシェタ・ボンフィン・ガブリエル  
(ブラジル)

今回の夏休みは、私たちがホームステイで望月様の所で7日間お泊りしました。

私たちはそれまで関東地方を出たことがあまりなかったので、とても楽しみにしていました。

小樽に着いたら、望月様が迎えて下さいました。お宅に着き、私たちは驚きました。木の建築の丸い家で、本当に素晴らしいと思いました。

7日間に望月様がたくさんの所へ行かせて下さったので、たぶんここに詳しく書けないけれど、思い出と言えば、春香山ユリ園、博物館、ワインの工場、北海道大学はとくに楽しかったです。

それ以外のことももちろん楽しかったですが、ここに書けないのは残念です。望月様はやさしくて、とても元気な人で、枝豆や温泉などの日本の伝統的なこと、ユリ園やシャガール展鑑賞などの北海道でしかできないこともさせて下さいまして本当にありがとうございます。すばらしい経験になりました。

## *Request from student!*

### ホームステイ受け入れのお願い

前回の会報でお願いしました留学生のホームステイを引き受けてくださった会員の方が15名ほどいらっしゃいまして、夏休み期間中に、20人以上の留学生が、東京や地方の受入れのご家庭で、日本の日常的生活を体験したり、近くの名所旧跡を案内していただいたりと、楽しく、充実した夏休みを過ごしてきました。本当にありがとうございました。

しかし、この夏の休み期間中は調整がうまく行かず、せっかく申し入れてくださったのに、お訪ねできないままになっているご家庭もあり、申し訳なく思っております。冬の休み、春の休みにまた、留学生たちの申し込みが多くありますので、その折にお願いしたいと思っております。よろしく願いいたします。

また、新しく受け入れてみたいとお思いのご家庭がございましたら、下記のところにご一報ください。お待ちしております。(幹事 梅田由美子)

連絡先: 留学生支援の会

<http://www.facebook.com/tufs.issa2>

東京外国語大学留学生課

電話: 042-330-5183、Fax: 042-330-5189

(火、水、金のみ、梅田まで)

E-mail: [umeda\\_yumiko@tufs.ac.jp](mailto:umeda_yumiko@tufs.ac.jp)



## 兵庫のホームステイ

留学生日本語教育センター  
ナターリヤ・ラシケヴィチ（ロシア）

私は東京外国語大学が留学生のために行うホームステイプログラムで8月相生市に行きました。私が四日間一緒に住んでいた家族は5人でお母さん、お父さん、二人のお嬢さんとお息子さんとみんながやさしくていい方です。

お母さんは私をいろんなところに連れて行ってくれました。赤穂市で赤穂義士のゆかりの史跡を見たり、姫路城を見に行ったり、備前市で一緒に備前焼を作ったりしていました。家族の皆さんと過ごしていたから日本についての新しいことをたくさん分かるようになりました。夜ご飯も一緒に作りました。たこ焼きとお好み焼きの作り方を教えてもらいました。いろんなゲームもしました。

最後の日に大阪のユニバーサル・スタジオに行きました。こういうところに行くのは初めてだったので、すごくいいところだと思います。並ぶのが少し疲れましたが、いい思い出ばかりのこりました。ジェットコースターも初めてだったから死ぬかと思ってすごかったです。夜は私を電車まで送ってくれましたが、別れが寂しかったです。

私も姉がいるから2人のお嬢さんと過ごしていて、自分の家族と一緒に住んでいたことを思い出しました。なつかしかったです。

私は歴史好きなので、お母さんにいろんな歴史的な場所に連れて行って、登山までしてもらって本当にありがたいです。それは4日間だけだったのに、いい思い出をいっぱい作りました。本当に楽しかったです。

どうもありがとうございました。

# VOICE

## 5. 留学生の声

以下、日研生でフィンランドからの留学生、マラ・マキネンさんがメールと感想を寄せてくれました。

この一年間、本当に楽しかったです。前からもある程度囲碁を打ったことがありましたが、外大に来て初めてこんなに真剣に打つようになりました。

囲碁はやればやるほど面白くなっていくようなものですね。先生には本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

ほかの支援の会の活動も面白い経験になりました。参加させていただき、ありがとうございました。

この一年間、大変お世話になりました。ありがとうございました。

## 東外大での囲碁

日研生

マラ・マキネン（フィンランド）

2012年～2013年の学年、一年間くらい「留学生の支援の会」で囲碁を学んできました。大学での勉強自体を除けば、この一年で一番力を入れたのは囲碁でした。囲碁に関する思い出がたくさんできて、力をつけられて、本当にうれしく思います。宗像先生を始め、「留学生の支援の会」の皆さんに感謝しています。

### 小さな親しい集い

外大で囲碁ができることが、たまたま知りました。広告などはどこにも見当たりませんでした。支援室においてある碁盤にふと気づき、尋ねてみたら囲碁もあると言われました。囲碁は私にとって昔から好きなゲームですので、もちろん行ってみました。

初めて行ったとき人が四人いた：宗像先生、日本人の女性二人、そして私です。雰囲気の親しい、ちんまりとした集まり。一年間で一人の女性が来なくなり、一人の年配の方が加わり、私に引っぱられてほかの留学生もたまに顔を出すことがありましたが、大体は一年間中ずっと少人数でした。

宗像先生がせっかくいらっしゃっているのに、私しかいないということも、もしかしたら大半も示していたかもしれません。そのことを心配し、先生に相談したこともありましたが、先生は一对一で教えるのはとてもやりやすいとおっしゃっただけです。そのように私を大切にしてくださった宗像先生に対して、とても感謝してい

ます。そしてもちろんきてくれたほかの人にもです。みんなと一緒に囲碁を打ったり、話をしたりするのがとても楽しくて留学の大事な思い出になっています。囲碁を通じて色々な人につながることができました。

### 力がつきました

では、一年間囲碁をして、力がついたかという、つきました。宗像先生の教え方はとても分かりやすいです。毎回はちょっとくらい強くなったような気がしました。

私はあまりネットで囲碁をしていませんので正確にどれくらい腕が上がったかはいえませんが、この間日本棋院に囲碁を打ちに行ったら、1~2 級くらいの棋力でした。国では確か 10 級くらいだったと思います。

もちろん、日本棋院で 1~2 級が通用するといっても、それは国でも通用するとは限りません。日本棋院はかなり甘いと言われていいますから。そして、1 年間で例えば 5~7 級くらい伸びたといっても、それはそんなに速いペースでもないかもしれません。しかし、週に 1~2 回打ってただけで、そのほかはそんなに囲碁の勉強をしなかったことも考えれば、やはり自分の今までのペースに比べて速い進歩だったと思います。

### 囲碁を国に持って帰ります

留学というものはあっという間に過ぎていくものです。これからは帰国することになり、外大での囲碁にもさよならを言わなければなりません。しかし、この一年間で宗像先生に教わった囲碁も、囲碁を打ってみんなで作った思い出も、私の大事な一部になっています。

国でもやはり、上を目指し続けたいです。先生がいない囲碁の勉強になりますので、この一年間の進歩のペースが期待できませんが、これからも確実に囲碁の腕を上げていきます。もしかしたら今度は私から人に教える機会もくるかもしれません



### 韓国から来たウンミちゃん

会員 菊池 雅子 (D 3 2)

「ガイジン民宿」だと娘がからかう。20年以上も前に将来は自分の「隠居所」にしようかと庭先に建てた25平米くらいのトイレ、バス、キッチン付きの小屋のことである。

人を泊めるようになったきっかけは奨学金をもらってやってきたアンゲーリカである。部屋を探してやってくれと昔の同級生に頼まれ、即日、近所に下宿をみつけたが、彼女が初めて会った同じ奨学生仲間を一間きりの部屋に泊めたのに感心した。ドイツ人は見知らぬ人にも心を許すのかということである。見習うべきだと。以来、友人が泊めてやってくれという人をいろいろ受け入れた。ニュージーランド人に初めて会った、その友達のアメリカ人、学会へ来たドイツ人、内モンゴル人、姪の友人のベルギー人、娘が「あやしい中国人」と綽名した引きこもりのニッキー、いかにもオーストリア娘のバルバラなどなど。数ヶ月から一年以上もいた者もいる。

かつて奨学金をもらって子連れでボンにいたが、「フラウ キクチは奨学金をもらって遊びに来ている」とあるドイツ人に言われたのが、その通りなので、ドイツ国民の税金を浪費させたことを負い目に感じ、東外大の「留学生支援の会」で何ほどかのお返しをしたいと入会した。

姑が亡くなり、昼間の我が家の人口が減ったのが淋しく、「支援の会」を通じて日本語科の留学生に下宿を提供したいと申し出たのが数年前のことである。

留学生の支援の仕方にはいろいろあって、そのころ留学生に中国語を習って授業料をあげるということをついた友人に誘われ、わざわざ内モンゴル人やウイグル人に中国語をならっていたので、我が家には中国人が来たらいかがと思っていた。やってきたのは韓国人の金銀美さんだった。それが私がイメージする韓国人とはまったく違っていた。まあ、今風な日本の女の子。それよりお洒落かもしれない。たくさん服を

置くのだから押入れを改造してくれとか、私が用意したキッチンマットは捨ててもいいかとか、言いたいことははっきり言うところが日本人らしくない。私にも韓国人の友人はいたから、このくらいは理解できる。私も平気で母屋にはキムチを持ち込んではいけないというルールを作った。このウンミちゃんが美人で性格が可愛い。会う人の皆に愛されてしまった。私には甘ったれで、遠慮しないところがいい。彼女のお見合い作戦に付き合っ、「日本人可」だというから親類の青年を紹介して振られたこともある。韓国へ帰るたびにお見合いをしていた彼女がついに気に入った男性を見つけ、庭の家へ連れてくるまでに彼女の婚活のあらましは我が家に入出入りする全員がよく知っている。

やりかけの博士論文より夫、つぎは子供という彼女は庭小屋に結局6年いて2011年の地震を経験して帰った。夫は韓国の原発関連の技術者である。

その年の4月に日本から私の家族やら親戚やら総勢6人が韓国語会話集を手には結婚式に向かったがブサンだけ濃霧で空港が閉鎖され、飛行機は飛ばなかった。翌2012年には念願のソジュン君が生まれ、一歳の誕生日が近づいている。

今度はどこの国の人がかかるの？と聞かれるが、庭小屋は私の本当の隠居所になってしまった。夏は暑く、冬はとても寒い最低の小屋である。よく皆、不平もいわずに住んでいたものだ。

**ご入会、ご寄付  
ご協力いただき、ありがとうございます**

### 新規加入者

■ 一般会員(平成25年6月19日～24年11月6日)  
可耘、中尾ゆかり (敬称略)

### 会員寄付者

■ 一般寄付(平成25年6月19日～24年11月6日)  
荒井嗣行、池田修晤、池谷貞悟、伊関滝子、板久恭子、市川友子、市川能人、伊藤眞由美、井上東一・久美子、内海和夫、大塚定、大坪美智子、荻原まさみ、片岡護、鹿嶋俊文、河野喜代子、北村みどり、五井修/沙織、

挙市玲子、鴻野初恵、小島照恵、五島大介、五味和行、小見山郁子、坂本恵、笹岡太一、佐藤泉/佐藤健、重岡直貴、新堂睦子、鈴木文子、田口勝美、田中啓雍、田中雅則、寺田朗子、中村英深、中村博、西門幸美、野中千恵子、長谷川雄一、花澤聖子、疋田妙子、菱川和男、藤井隆雄、星達雄、本望春夫、松村洋三、宮井捷二、三宅真理、山岡三四郎・万里子、山岸隆夫、横石邦彦、吉田展子 (敬称略)

万一お名前に間違いがありましたらお詫びいたします。その節は、当会までお知らせくだされば幸いです。印刷できない外字等、ご了承ください。

11月6日現在  
会員数：1963名  
納入者：555名  
納入率：28.3%

すべての活動は、皆様の年会費とご寄付で行われております。本年度会費を同封の振込用紙にてお振込くださいます様、お願い申し上げます。

※ ひとりでも多くの方々の早期納入のご協力をお願い致します。

※ 振込用紙にメールアドレスをお書き添えいただければ、今後、当会の各種イベントなどの情報をお届けしていきます。

一般会員:年会費 3,000円  
協賛会員:年会費 20,000円

♪ 年度末までのオ・ネ・ガ・イ ♪

**平成25年度 会費納入のお願い  
3月31日(日)まで受付**

会員の皆様には、これまで支援活動へのご協力、ご支援をいただき、ありがとうございます。

会員の皆様の **納入率6割強を目指しています。**

来年度の活動ご支援いただくためにも、

是非会費納入 **継続**をお願い申し上げます。

納入をお忘れの方や、ご入会2、3年目の方々  
(H23年度H24年度ご入会)、納入率アップに是非  
ご協力下さい。本年度会費を同封の振込用紙にて  
お振込下さいます様、お願い申し上げます。

## 心からのお願い！

会長 中嶋 洋子

現時点での会費納入率をご覧の通りですが、  
相変わらず低い状況が続いています。このま  
まで果たして来年度以降の活動が成り立つも  
のか不安に思います。

当会の活動は、主として会費収入で賄われ  
ております。会費収入は活動の要です。

会費納入をお忘れの方、どうぞどうぞぜひ  
お納めいただきますよう、心からお願い申し  
あげます。

特に、各年度の、お子様の外語大入学時に  
ご入会頂いた方々、初年度だけではなく2年  
目以降の納入を是非お願いいたします。実は  
その納入率は10数%で、全体の運営に支障  
をきたしているのが現状です。

なお、平成25年4月入学時に入会してくだ  
さった方々は、すでに会費納入をいただい  
ていますから、次は平成26年の6月に発行され  
る会報に振込用紙が入っていますので、引き  
続きよろしくお願いいたします。

例年、外語大の新入生の保護者の方々に  
当会入会をお願いしていたのですが、この  
ような現状を鑑み、26年度以降は、会費4  
年間分12,000円の一括振込みを以て入会し  
ていただくことを幹事会で決定しました。2  
年目以降も会費を確実に納入していただき  
たいとの思いから考えましたいわば苦肉の  
策です。今後の、外語大新入生の保護者に  
限りこの方法を採用させていただきます。  
それ以外の入会者または従来の会員の皆様  
に関しましては従来通り、年会費3,000円

で対応させていただきますのでご了解くだ  
さいますようお願いいたします。

どうぞ今後とも皆様の大きなご支援を賜り  
たく率直な事実をお知らせさせていただきました。



# ACTIVITIES

## 7. これからの活動

※これからの活動について、会報がお手元に届く日  
付によっては、既に終了してしまった企画がある場合  
がございます。何卒、ご了承いただきたくお願い申し  
上げます。

1

今年も！「国際交流の夕べ」  
12月13日(金)

今年も！

恒例の留学生との交流を是非お楽しみください。  
会員の皆様のご参加をお待ちしています。

第二部「国際交流の夕べ」

日時:12月13日(金)18時~20時

会場:校内学生食堂

費用:無料

どなたでも参加できます。

会員の方の参加をお待ちしております。

なお、午後2時より午後5時まで、第一部として「日  
本文化体験」では、恒例のごとく、「着物体験教室」、  
「華道教室」、「茶道教室」、「将棋・囲碁教室」、「折り

紙・和紙人形・墨絵教室の」等の体験教室を開催予定です。(※着物体験は午後1時より開催予定。)  
体験教室詳細は別途お問い合わせください。

当日のお手伝い・参加可能な方は、当会または下記までご連絡下さい。

042-330-5183(火、水、金のみ、梅田まで)

## 幹事会

下記のとおり幹事会を開催しました。

平成25年7月14日(日)

平成25年9月22日(日)

平成25年10月20日(日)

平成25年11月4日(月)

## HOME VISIT & STAY

♪ ホームビジット、ホームステイ受け入れに関心のある方は是非、当会にお問い合わせ下さい。

首都圏などでのホームステイ受け入れに加えて、地方の方々のお申し出もお待ちしております。といたしますのは、留学生たちは、日本の地方の文化に触れ、生活してみたいという希望もまた多いからです。



MERRY CHRISTMAS!

<お問い合わせ先>

〒183-8534 東京都府中市朝日町3-11-1

東京外国語大学 留学生課気付(梅田、谷川)

TEL: 042-330-5183 / 5759

FAX: 042-330-5189

<http://www.facebook.com/tufs.issa2>

©Copyright 2013, TUFFS International Student Support Association

# 東京外国語大学 留学生支援の会

No.45  
年3回発行

Since 1999

## 会報

「印象いっぱいです」と留学生。東京下町文化体験ツアーについて、学生たちの声が届きました。ぜひお読みください！（5ページより）

Pick Up  
Event 2014

春のバザー開催！4月2日(火)～8(月) バザー用品受付いたします！！  
ボランティア募集！ バザーの人手が足りません。（詳細 17 ページ）

〒183-8534 東京都府中市朝日町 3-11-1 東京外国語大学留学生課気付 TEL 042-330-5183/5759 FAX 042-330-5189

<http://www.facebook.com/tufs.issa2>

## INSIDE

- Page 1. 1. 巻頭言  
Page 2. 2. ご挨拶  
Page 3. 3. 活動報告  
3-1 東京下町文化体験ツアー  
キム・ダウン(韓国)  
トウ・ホイラム(香港)  
今瀬裕可里(日本)  
3-2 「国際交流のタベ」  
グルミラ・カプロバ(ウズベキスタン)  
3-3 お茶とお菓子を通して  
3-4 小・中学校での交流授業  
キム・ダウン(韓国)  
パトリック・エファ(ガーナ)  
Page10. 4. 留学生の声  
4-1 日本のお正月体験の感想  
グエン・レ・ホン・ヴー(ベトナム)  
4-2 素晴らしかった外語大での  
1年間  
クジメンコ・ボリス(ロシア)  
Page13. 5. これからの活動

## FOCUS

### 1. 巻頭言

#### 留学生支援の会—文化共生の最前線

理事(教育研究総括・国際戦略等担当)

宮崎 恒二

留学生は異なる文化的背景をもつ人々をつなぐ。留学生を勇気づけ、その心身を支える活動は、文化の共生の最前線に位置しているといえるだろう。留学生支援の会の活動に、敬意を表し、深く感謝したい。

留学に対する特別な思いは、私自身、大学院生時代に経験できた二度の留学生活に負うところが大きい。まだ海外留学が普通のことではなかった40年近く前、インドネシアへの留学に先立ち、まずはインドネシア研究の中心で勉強したいと思い、オランダに向かった。

ロータリー財団の奨学金を得て、初めての海外生活を送ることになった私を迎えてくれたのは、ライデンのロータリー・クラブのホスト・ファミリーだった。日本からの留学生が少ないこともあり、クラブの例会で何かスピーチをするように求められた。地元ばかりでなく、周辺地域のクラブからもスピーチの依頼があった。

## 2. ご挨拶

ある会員の方から

会長 中嶋 洋子

英語でもよかったのだが、あえて勉強中のオランダ語を使うことにした。10近くのクラブで話したのだろうか、主に日本語について紹介した。タイプライターは存在するのか、アルファベットを使った方がいいのはいいか、というような質問もあり、ちょうど、数百万円はしたものの、ワープロも開発されていたので、将来はそれが普及するだろうと答えた記憶がある。誰も納得しなかったが、私自身も半信半疑で、その10年後にワープロで博士論文を書くようになるうとは夢だにできなかった。

大学の指導教員ご夫妻にもずいぶんと世話になった。何かにつけて、ご自宅に招かれ、外国からの研究者などとの交流の輪に加えていただいた。

いまでこそ、オランダの大学は、英語圏以外では講義などの英語化がもっとも進んでいるが、私の留学当時は、オランダ語のみであった。留学生の受入に当たっては、オランダ語の能力を確かめるべきだ、と主張する教授がおり、私もその先生の試験を受けさせられた。合格点はもらったが、夜間開講されていた留学生向けのオランダ語講座を受講することが求められた。

オランダ語の学習は、渡航以前に多少始めていたし、渡航直後にも教育省の主催するオランダ集中講座にも参加していたのだが、ホストファミリーや指導教員の家族とオランダ語で話す機会は有益だった。

ライデン大学の留学生受け入れ体制は、当時、すでに整っており、留学生受入担当が必要な手続きやなどについて丁寧に説明してくれた。宿舎についても、大学の国際センターが、まずまずのアパートを見つけてくれた。このセンターで働いていたのは、大学関係者の家族のボランティアだった。後年、聞いたところでは、留学生の数も増え、また法的問題に対応するため、センターは法人格を取得し、不動産斡旋業の免許も取得したということだった。

留学生受入30万人を目標に掲げる日本でも、大学の組織的な対応が急がれている。しかし、なによりも重要なのは、留学生に暖かく接し、勇気づけてくれる善意の人々の存在である。



いつも会報を興味深く読ませていただいています。

特に世界各国からの留学生諸兄が、様々な日本体験、きっと祖国で活躍する時に、日本への思いと経験がよみがえることでしょう。

すばらしい財産であることを信じています。

御会のご活動、ますますの発展を祈っています。

2013. 11.29

64才(男性)

ある会員の方から上記のようなお葉書をいただきました。短い文章ではありますが、万感の思いを私どもにお寄せくださいましたことを、心から感謝申し上げます。同時に、当会の活動も14年目に入りましたが、この間で、上記のお葉書は、私どもに最も大きな幸せを与えてくださったといっても過言ではありません。

ありがとうございました。

私ども幹事は、当会の活動が果たして本当に留学生のためになっているのか、自己本位、自分よがりになってはいないかと、常々考えています。その意味では、他の会員の皆様方にも、ぜひ率直なご意見、ご批判をいただきたいと思っています。

話は変わりますが、昨年12月13日に大学と当会の共催で毎年行われる“国際交流の夕べ”(活動報告6ページ参照)で、留学生の皆さんに次のような挨拶をしました。

ご存知のように、和食、日本食がユネスコに無形文化遺産として登録されました。同時に日本食文化も同様に登録されました。

日本食文化とは何かについて、日本人は食事をする時、いつも初めには「いただきます」、食べ終わった後には「ごちそうさまでした」と言っていることを例にあげました。

日本食に関わる文化を自覚して日本での留学体験をしてほしい、そのことが母国に帰った時に、自分の国の食文化を再認識することに繋がると思うと話したことでした。

食文化のみならず、他のことごとく文化の側面から観察することは、日本の精神を理解することであり、留学体験を一層豊かなものにしたいと思います。

留学生の皆さんにこの話が理解してもらえたら嬉しいのですが。

## REPORT

### 3. 活動報告

#### 3-1 東京下町文化体験ツアー

～隅田川クルーズ、浅草散策、  
江戸東京博物館、ちゃんこ鍋懇親会～

日時 2013年11月17日(日)集合時間11時40分

集合場所 日の出桟橋東京クルーズ乗船場

参加者数 留学生34名、日本人学生13名、幹事7名

#### 内容

隅田川クルーズを入れたツアーも今回で3回目となりました。申し込み開始から留学生枠はすぐ定員に達しましたが、本年度は外語祭前の行事となったためか、日本人学生の申込みが低調な始まりとなりました。しかし、1、2年生の申込みが少ない分、3、4年生の学生が多く参加でき、結局定員以上の申し込みとなりました。4年生の学生が卒業を前に初めて参加出来てとても喜んでいました。

日本人学生と留学生の交流という観点からも参加者を7グループに分けたところ、日本人学生が各グループのリーダーとしての役割を立派に果たし、大人数に

もかかわらず、ほとんど時間通りに日程を終えることが出来ました。また留学生の国籍もなるべく均等に振り分けたので、お互いの親睦も図れたようです。

#### 隅田川クルーズ 12時20分～13時00分

当日は天気も良く、水上バスの2階席から隅田川兩岸の景色を楽しみました。40分弱のクルーズの後、スカイツリーを背景に船着き場で集合写真を撮りました。

#### 浅草散策 13時10分～15時00分

グループごとに自由行動で雷門から仲見世通りの店に立ち止まりながら散策し、浅草寺に参拝しました。昨年、浅草での時間が足りなかったという声があったので、今回は30分時間を長くしたので、浅草をゆっくり楽しめたようです。その後、隅田川の景色を楽しみながら、徒歩で両国へ移動しました。

#### 江戸東京博物館 16時00分～17時30分

日本人学生を含め、初めてこの博物館に来た学生が多かったので、江戸時代の街並みの模型や多くの展示物を見て、興味深かったという感想が聞かれました。

#### ちゃんこ鍋懇親会 18時00分～20時00分

1日の行事の締め括りとして、両国江戸沢総本店でちゃんこ鍋を囲みました。1日の感想、自己紹介、また留学生が自国の歌を歌うなど、とても和やかな会となり、20時過ぎに現地で解散しました。

(池村幹事記)

#### 東京下町文化体験ツアーの感想

#### 国際交流の貴重な体験

特別聴講生

キム・ダウン(韓国)

浅草は「東京で会える京都」だと聞いたことがあります。しかし、今回の浅草に行ってみて京都とはまた違う雰囲気だと思いました。浅草は、過去と現在が調和して、東京の他の地域では見られない魅力がありま



した。

浅草寺は伝統的なものがよく保存されていて、周りの商店街は今日の活気に満ちた空気を持っていました。伝統をよく保存し、それと一緒に未来を作る姿は日本文化の中でももっともうらやましい部分の一つだと考えてきたため、浅草は非常に印象的でした。

浅草下町ツアーでは、浅草寺の周辺の見学以外にもクルーズ、江戸東京博物館、ちゃんこ鍋を体験できました。全部とても楽しくて新鮮な経験でした。

朝の集合場所が浅草ではなく、浜松町でしたので「なぜ浅草ではないか？」と思いましたが、水上バスに乗って浅草まで行くことになったのを知ってとてもうれしかったです。

韓国は三方面が海に囲まれた半島の地形で、ソウルには中心を横切る大きな漢江があって、都市でもなんとなく水を見られるが、船に乗るのはそれとは別にとっても久しぶりだったからです。水の流れを急速に分けるクルーズの上で風を受けながら話していたら、いつのまにか浅草に到着しました。

江戸東京博物館では本で読んだ江戸時代の人々の生活を浮世絵や遺物などを通じて直接見ることができました。ガラスの中に資料を入れておいて単純になめるように見るのではなく、精巧に作られた模型を望遠鏡で観察しました。当時の建築物を見たり、浮世絵の作り方を順番に並べておいてあるのを見たりして、浮世絵職人の真心を感じることができました。

博物館見学を終えて、近所にちゃんこ鍋を食べに行きました。今回の日程で一番期待していたことでした。事前に予約をしてくださって、部屋に入ったらすぐ食べ物が出始めました。ちゃんこ鍋はお相撲さんが食べる物だから、量が本当に多かったです。いっぱい食べて一日中一緒に旅行した人たちと自己紹介をして、今日の感想を話す時間を持ちました。指名されて、自国の歌を歌いました。私は歌に自信がないので、最初は恥ずかしかったですが、あまりおずおずするのもよくないと思って、韓国で流行した「グイヨミソン」という歌をダンスと一緒にやりました。

みんながよく呼応してくれたし、食事が終わって店の外に出ても「かわいかった！教えてね」と言ってくれた友達がいて気持ち良かったです。このようにさまざまな国の歌をその国の人に聞いてもらえる機会は、人生でほとんど出会えないチャンスだから、すごくよかったと考えます。

今回のツアーを主催して進行してくださった留学生支援の会の皆様に心より感謝いたします。私も韓国の大学で、外国人留学生のための旅行プログラムを企画して準備、進行する団体で働いたから、今度の旅行がどれほど多くの真心と熱情、努力が必要か分かります。

すべての面でとても完璧なツアーだったと思います。

留学生の皆さん、留学生支援の会の日程を必ずチェックして一緒に旅行に行きましょう！



(↑クルーズを終えたところでスカイツリーをバックに記念撮影)

浅草では組に分かれて自律的に見学をした後、さっきクルーズに乗ってきた江をさかのぼって江戸東京博物館まで行きました。クルーズで見た風景を、ゆっくり鑑賞しながら歩くのも新しかったです。

このツアーで会った日本の学生や留学生と話しながら歩くこの時間がとても大事に感じられました。

ご意見、感想など、会報への  
**投稿募集** どしどし  
お寄せ下さい

東京下町文化体験ツアーの感想  
日本人学生と交流ができた

ISEP  
トウ ホイラム(香港)

11月17日に、留学生支援の会が計画した東京下町文化体験ツアーに参加しました。最初は寮の掲示板に載っていた宣伝ポスターでこのツアーを知り、友達と一緒にツアーの申し込みをしました。このツアーに留学生だけじゃなく、日本人の学生たちもいるので、本当にいい交流の機会でした。

外大に来たのは9月の下旬で、日本人の学生はもちろん、ほかの留学生との交流もまだ少なく、このツアーのおかげでまだ話したことがない人たちと知り合いました。ツアーの時のグループはランダムで決められて、友達と一緒に回れないのは最初残念だと思いましたが、同じグループの学生たちといっぱいしゃべれたので、いい一日でした。

ツアーの日まで、浅草にまだ行っていないので、ツアー申すずっとわくわくしました(笑)。自分で行くとなぶんクルーズに乗らないので、なかなかよかったです。その日の天気もすごくよくて、気持ちよくみんなとゆっくりお寺と仲見世通りを回って、買った食べ物をシェアしておいしくいただきました。

その後江戸東京博物館で見学して、最後はちゃんこ鍋でツアーを終えました。ちゃんこ鍋ははじめて食べて、みんなもお腹いっぱいでした…。肉の量がすごかったです(笑)

本当に満喫しました！ツアーを計画してくれた留学生支援の会、ありがとうございました！



(↑浅草の自由行動)

東京下町文化体験ツアーの感想

4年生にしてようやく参加できた

外国語学部ペルシア語専攻4年  
今瀬裕可里(日本)

1年生のときからこのツアーのことを知っていましたが、4年目にしてようやく参加することができました。そのため、朝からとてもワクワクしていました。

最初に、日の出桟橋から浅草まで船で行きました。船内から東京スカイツリーを電車よりも近い距離で見ることができたので迫力がありました。

浅草の自由行動では、中国、ウズベキスタン、カンボジアから来た留学生と共に仲見世通りと浅草寺を散策しました。2時間という限られた時間だったので、ゆっくりすることはできませんでしたが、楽しく過ごすことができました。

そのとき、留学生から浅草寺の本尊や熊手について質問されました。本来、日本人学生の役割は訪れる場所や日本の風習についてあらかじめ調べておいて留学生に紹介することであると思います。来年のツアーでは、日本人学生に浅草のガイドを担当してもらうのもいいかもしれません。

その後、30分ほど徒歩で両国まで移動しました。普段は電車移動が多いため、歩いているうちに足が棒のようになりましたが、いい運動になりました。自分が運動不足であることが身にしみてわかったので1駅分くらいは歩くように努力しようと思いました。

江戸東京博物館では、常設展を見学しました。御輿(みこし)や人力車などに乗ったり、江戸時代からの民家を再現した模型の中に入ったりして日本文化を体験できたので、留学生はとても喜んでいました。私は何回もこの常設展を見にきているのですが、毎回みても飽きさせないのが江戸東京博物館の魅力ですね。

最後は、ちゃんこ鍋を囲んで懇親会を行いました。私の横に座っていた留学生とはお互いの食文化について話しました。また、隣のテーブルでは他の留学生が自分の国の歌を歌っていてにぎやかな雰囲気の中で1日が終わりました。

最後に、このツアーを企画・運営していただいた留学生支援の会の方々に感謝します。浜松町駅から日

の出栈橋まで留学生支援の会の方に案内をしていたり、夕食の会場の手配をしていただいたりしました。約 50 人という大人数を引率することは大変だったと思います。ありがとうございました。

### 3-2 国際交流事業「日本文化交流会」と留学生友好交流のための懇親会「国際交流の夕べ」が楽しく、賑やかに開催されました！

日時 2013 年 12 月 13 日(金) 13:00~20:00

会場 大学会館と国際交流会館交流ホール

留学生にとって毎年楽しみの、大学・支援の会共催の国際交流事業が、2013 年 12 月 13 日(金)に開催されました。

第一部の「日本文化交流会」では、恒例のごとく、「着物体験教室」、「華道教室」、「茶道教室」、「囲碁教室」、「折り紙・和紙人形・墨絵教室の」5 つの体験教室を開きました。

留学生たちは、自分の興に任せそれぞれの教室に参加し、初めて体験する日本文化を楽しみました。着物はやはり一番人気があり、振り袖姿になった留学生は日本美人になった心地がしたようでした。お茶、墨絵等々、楽しく経験する中で、留学生達は日本をより理解し、日本にもっと近づけたと思ったことでしょう。

第二部の「国際交流の夕べ」(留学生との交流・友好の場である懇親会)には、日頃留学生を支援、協力してくださっている来賓の方々、大学関係者と留学生、日本人学生とで総勢 350 名ほどが参加し、互いに食事を共にしながら交流を楽しみました。

留学生司会による後半は、ウズベキスタンの歌と踊り、中国の琵琶の演奏、日本人学生のモダンダンス、チアダンスや日本人・留学生混合チームのバンド演奏、支援の会による福引等で会場は盛り上がり、最後の出し物、岡田先生率いるバンドと歌で今年も締めくくられました。

予定の 2 時間はあっという間に過ぎてしまいました。が、昨年より日本人学生たちの参加が多く、今後留学生と日本人の交流の活性化が期待される夜となりました。

\*\*\*\*\*

第1部 13:00~17:00 日本文化交流

参加者160人

(1) 着物の着付け(国際交流会館二号館交流ホール)参加者40人

(2) 華道 学生会館集会室 B)参加者30人

(3) 茶道(学生会館和室) 参加者30人

(4) 日本の伝統的遊び(学生会館大集会室)

参加者50人

(5) 囲碁(学生会館集会室 A) 参加者10人

第2部 17:45 ~ 20:00 (学生会館1階ホール)

国際交流の夕べ[懇親会] 参加者350人(留学生250人、日本人学生50人、来賓、大学関係者50人)

\*\*\*\*\*

(梅田幹事記)



(↑振袖、羽織袴姿で嬉しそうな留学生)



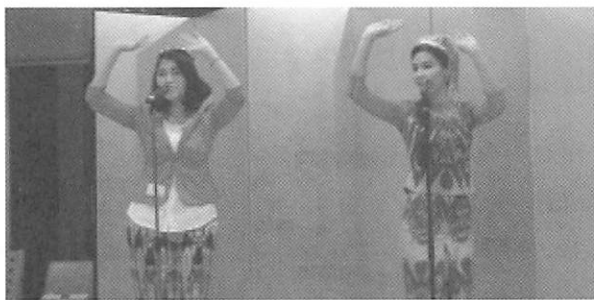
(↑日本人・留学生混合チームのバンド演奏)



## ウズベキスタンの歌を歌いました

研究生  
グルミラ・カプロバ（ウズベキスン）

12月13日の交流パーティでウズベキスタンの歌を歌いました。特別なイベントでしたから特別な歌を歌おうと思いました。民族衣装で民族歌を聴いてもらいました。演奏のあと民族衣装は多くの人に興味を引いて一緒に写真も撮りました。前は会ったことがあっても話したことがない方々と交流してたくさんの友達もできました。



(↑ウズベキスタンの留学生による歌)

また、日本人の中でウズベキスタンへ旅行したり、ウズベク人と交流したり、伝統的な街を見て感動した方々もいて、とても嬉しかったです。なぜかという、自国について様々ないいことを聞かせてもらったからです。イベント後、あちらこちらから集まって来た多くの人に民族衣装、地元民についていろいろ聞かれました。

イベントで他の国の伝統的なダンス、演奏も鑑賞しました。周りにいた様々な国から来た留学生たちはお互いの国に大変興味を持っていて、もっと知りたくて声をかけてきました。このイベントは私にとってとても興味深かったです。

用意された日本料理も美味しかったです。多種で美味しい料理を食べながら様々な方々と話したのは、非常に良かったです。演奏のあとはくじ引きをしました。それも外国人である私たちにいい思い出を残すための方法だと思いました。

私をいつもびっくりさせるのは、年上の日本人も若い人のようにパフォーマンスをすることです。イベントで、岡田先生にパフォーマンスをしていただきました。

本当に楽しかったのでイベントが終わって、片づけが始まる時までそこにいました。私たち留学生たちと日本人たちとの交流会は、もっと幅広く行ってほしいです。外国と日本の関係を結ぶ一番心の通じた効果的な機会だと思ったからです。

国へ帰ってもそのような様々な楽しくて、興味深い交流会での出会いは、一生記憶に残ると思います。

私以外のウズベキスタンの知り合い、友達もぜひ日本へきて素晴らしい思い出を得て欲しいと思います。

### 3-3 留学生と日本人学生の交流をめざして

#### 留学生による各国文化紹介 ～伝統的なお茶とお菓子を楽しむ！～

日時 2014年1月22日(水) 11:50~14:00

会場 アゴラグローバル Café Castalia

東外大留学生支援の会主催の、今年度2度目の各国文化紹介のイベントがアゴラグローバル Café Castalia で実施された。

立石学長から、このイベントが国際交流促進に果たす意義についてご挨拶があった後、ラトビア、スペイン、ベラルーシからの三カ国の留学生が、パワーポイントを使いながら自国の文化紹介の5分ずつのプレゼンテーションを行なった。



(↑各国文化紹介が始まりました)

その後、留学生たちは、それぞれ三つのブースに分かれて、それぞれの国で一般的に飲食されている飲み物、お菓子などを来場者に味わってもらった。前日までに母国から取り寄せたり、日本で購入したりしたお菓子や飲み物や、支援の会の協力で作ったり揚げたりして用意したサラダやおつまみなどだ。

参加者は、プレゼンの内容や、お菓子の材料、作り方などについて質問しながら、楽しく交流をした。

「初めて食べたけれどおいしい!」と、留学生が用意した飲み物、サラダ、お菓子などはすべてなくなってしまった。

今回も、テストの時期と重なったせいか、留学生、日本人学生合わせて200人弱と例年より少なく、注文したランチのサンドも残って残念だったが、食文化を通じての交流会は、相互理解や、今後の友好を深めるための有意義な機会となった。



(↑スペインのプレゼン)

### 3-4 小中学校の国際理解教育の授業に留学生を派遣

昨年11月以降に近隣の小中学校からの依頼により留学生を以下の3校に派遣しました。

#### (1) 川崎市立はるひ野中学校

12月10日 アメリカ、ベラルーシ、中国の3人

#### (2) 府中市立武蔵台小学校

1月28日 ニュージーランド、韓国2人、中国、ミャンマーの5人

2月7日 ガーナ、台湾、韓国の3人

#### (3) 府中市立第10小学校

2月21日 ベラルーシ、トルコ、中国、アメリカ、韓国の6人

計17名の留学生が総合学習(国際理解授業—外国を知ろう)の授業に参加しました。引率の会員と留学生からの報告をお届けします。

(梅田幹事記)

### はるひ野中学校の国際交流授業に留学生を引率して

12月10日に、はるひ野中学校に留学生3人を引率した。

今回は、3人の留学生が、1クラスに1人ずつ入って1時間、生徒との交流を持った。(これまでは1人20分でクラスを替わっていた。)

アメリカのクリスさんは来日して数か月で日本語に不安があったようだったが、授業が始まると全く問題なく授業を進めていった。「アメリカについてどんなことを知っていますか?」と質問したり、アメリカで流行っている日本のものを紹介したりしていた。映画やアニメ・ゲームの話題が発展して、マニアの生徒と盛り上がっていた。授業が終わっても生徒たちに囲まれて質問攻めに合っていた

ベラルーシのカチェリーナさんはパワーポイントを使用し、国の概要を説明した。画家マルク・シャガールはカチャさんの故郷 Vitebsk 出身とか。外大でベラルーシから来ているのは私だけなので、この機会に何でも聞いてくださいねと、貴重な時間を大切に過ごす工夫をしてくれていた。国内だけでなくEU やロシアとの関係についての質問もあった。お話がとても上手で楽しい授業だった。

中国のトウさんは、中国琵琶を持参。演奏を披露してくれたあと、小さいパンダのぬいぐるみを生徒に渡した。曲を弾いている間に次々回してもらい、曲が止まった時にそれを持っている生徒に自己紹介とトウさんへの質問をしてもらうというユニークな授業。琵琶についてのことや、時節柄中国のお正月に関する質問があった。

これまでと違い時間に余裕があったので、生徒たちとより打ち解けることが出来ていたように思った。三人ともとても楽しかったそうだ。

(利光幹事記)

子供たちが元気で正しく育ってグローバルの多くの人たちと仲良くなれる人になることを願います

特別聴講学生  
キム・ダウン(韓国)

子供たちに癒された時間でした。武蔵台小学校 3 年生の授業に参加し、留学生らが自分の国を短く紹介して終わるものだと思っていたが、私たちの紹介が終わったら、子供たちが学校と日本の文化紹介、そして歌まで歌ってくれました。考えられなかったイベントであり、準備を熱心にした真心が目立ってとても感動的でした。

個人的に、韓国の大学で、私の大学に来た外国人留学生たちに韓国文化を教えるプログラムを企画・準備する団体に所属していたため、韓国について紹介することを見慣れていました。

しかし、大学生を対象に説明をすることと、小学生に説明するのは非常に違うことだから、緊張しました。最初は留学生たちの 5 人の中で、背が高く金髪のハンサムなニュージーランドの男子留学生に子供たちの視線が集まったが、他の留学生たちの発表の順番になると発表者に注目してくれました。優しさを感じました。

私は最後の発表なので、子供たちがくたびれたと思いました。子供たちはきらきら輝く目で私を見てくれました。何について紹介するか悩みましたが、その時期がちょうど韓国でお正月だったので、それについ

て話しました。日本は 1 月 1 日がお正月だが、韓国は陰暦を使うのでお正月とお盆は毎年違って、今年は 1 月 31 日だと言ったら、子供たちが全員「ええ～嘘だ～！」という反応だったのですごくかわいかったです。

お年玉をもらうときに言う言葉や挨拶を教えました。挨拶の方法はひざまずいて両手を重ねて頭と一緒に下げることで、直接学校生たちの前で範を示したら、「土下座だ～」と誰かが言いました。こういう韓国の挨拶を初めて見た子供たちには、確かにそう見えるかもしれないなと思って少し笑いました。

でも、すべての日程が終わった後、食堂で生徒代表の二人が「今日一日ありがとうございました！」と言ったあと、一人がその挨拶をしてくれて、すごくうれしかったです。ちゃんと覚えてくれて、感動しました。

留学生の紹介が終わって、教室に戻って、子供たちと一緒に日本の遊びをしました。テレビでしか見なかったけん玉を子供たちに教えてもらいながら実際にやって、楽しかったです。

遊びの中に、長い糸を指のあちこちに刺して形を作って、最後はその糸を解くゲームがありました。それは私も小学校の頃よくやった遊びだったので、本気で楽しみました。子供たちが皆元気で友達に配慮しながら楽しく遊ぶ姿を見て、私の小学校の頃を思い出しました。

子供たちが今のまま元気で正しく育ってグローバルの多くの人たちと仲良くなれる人になることを願います。一日、ありがとうございました。



## 武蔵台小学校の子供たちとの出会い

修士課程 (Peace and Conflict Studies Course)

パトリック エファ(ガーナ)

Before the presentation at the Musashidai elementary school, I had no idea as to how it would be. It was my first experience with the Japanese pupils in class. I was a bit nervous because my Japanese proficiency level is still bad. At the school, it was a different story. The children were so welcoming, the teachers were so cheerful than I imagined. My best experience was not even the presentation itself, but interaction with the children after the presentation. The games we played together, the food we ate together and the warmth reception of the entire school community was incredibly impressive. I think the games are very attractive to the children and they make teaching and learning very smooth as well. The teachers were so patient with the kids, and they had time for everyone. I was very impressed as a teacher. Even though my interest has always been in teaching higher classes, my encounter with the children in class 3 of the Musashidai elementary school has given me another interesting experience. I would be so happy to have another encounter with the school children.

Thank you.

### 留学生支援

会員の皆様ひとりひとりが

留学生の笑顔をつくります！

# VOICE

## 4. 留学生の声

### 4-1 日本のお正月体験の感想

日研生

グエン・レ・ホン・ヴー (ベトナム)

今年、私は初めて日本のお正月を体験することが出来ました。忙しい年末年始に、色々なことを経験し、有意義な時間を過ごして、大満足でした。

2013年12月25日から2014年1月3日までの一週間位で、日本で、同級生、先輩、日本人のお知り合いと再会することが出来て、何より嬉しかったです。

25日に、埼玉県にあるモラロジー研究所との交流会に参加しました。日越の食事を食べたり、色々話合ったりして、楽しい時間を過ごしました。久しぶりに生春巻き、揚げ春巻き、フォー、お好み焼きといったベトナムの料理を食べて、懐かしく感じました。

27日に、群馬県に住んでいる日本人の知り合いの家を訪問しました。皆と一緒に忘年会を準備したり、楽しくビンゴゲームをしたり、二次会のカラオケで気を遣わず歌ったりして、忘れられない思い出が出来ました。嬉しい事に、お年玉も頂きました。

29日と30日に、茨城県に在住している日本人の先生の家に行きました。一人暮らしをしている先生と同級生と一緒に大掃除をし、門松やしめ飾りなどをつけました。日本人が普段に過す年末を楽しむことが出来て、本当に有りがたく思いました。

大晦日に、日本で大人気の「紅白歌合戦」をNHKで鑑賞しました。そして、10時位に、急いで家を出掛けて、東京タワーの近くにある増上寺に行きました。あそこで新年が明ける時刻を迎えました。後で、先輩と同級生と共に、除夜の鐘を聴きながら、串焼とお好み焼きを食べました。増上寺に初詣しようと思ったけど、凄く混んでいて辞めざるを得なかったのです。

3日に、ホストファミリーの家に来ました。昼ご飯としておせち料理を頂いてから、日野市にある色々なお寺へ初詣に行きました。ホストファミリーのお父さんの御案内のお陰で、日本人の墓参りや初詣などの慣習を色々伺うことが出来て、勉強になりました。帰った後、

ホストファミリーの息子さんと将来のお嫁さんに会いました。

温かい雰囲気の中でホストファミリーの皆達と一緒におせち料理を味わえたり、ワインを飲んだり、俳句カルタをやったり、ケーキを作ったりしました。ベトナムから持って来たコーヒーとパラミツ・ドライフルーツを皆達は美味しく召し上がりました。そして、お父さんが旅行の時に買ったベトナムの伝統音楽のCDを開いて、音楽でいっぱい空間でコーヒーを飲みながら色々話し合いました。私はベトナムの音楽を簡単に紹介しました。

皆は温かい心で接待して下さり、感動が極まりました。日本人の心と優しさもわかってきました。心より感謝します。

## 4-2 素晴らしかった外語大での1年間

### 東京外国語大学に留学できたのは天の恵み！

日 研 生

クジメンコ ボリス(ロシア)

皆さん、東京外国語大学での一年について感想を書くことは非常に難しいです！なぜなら、一年間の間、印象に残った出来事がありすぎて、どれを話せばいいのかさっぱり分かりません。それは、私が日本語を話せると誰かが知って、私に「日本語で何かしゃべって？」と言われる時と同じぐらい困ってしまいます。「とてもよかったです！」「忘れられない思い出になりました！」というような共通の表現で終わらせたくないの、頑張ります！

あ、申し訳ありません！自己紹介を申し遅れました。クジメンコ・ボリスと申します。ロシア人で、2012年9月から2013年9月までちょうど一年間、東京外国語大学で日研究生(日本語・日本文化研修生)として在学していました。どうして東京外国語大学を選んだのか、そして、東京外国語大学について自分の感想をお話しますね。

私は大使館推薦の、つまり、全国日本語コンテストで優勝したから、日研究生のプログラムに参加すること

ができたという日研究生でしたから、自分が選んだ大学で在学することができました。コンテストに申し込む時に勝てる自信がなかったのも、実は、大学リストの説明を読まずに、東京の大学ですから、外語大を選びました。しかし、今は、東京外国語大学を選んで、とてもよかったです。「他の大学を選ばないでよかった！」、「東京外国語大学に在学することができたのは、天の恵みだったに違いない！」などと今まで、何回も考えたことがあります。

外語大で受けた日本語の授業のおかげで自分の日本語能力も上がったし、今まで考えてもなかった日本語の根本的で大事なことを学びました。情報をただ単に集めて使おうとすることより、情報を整理して、機能しているシステムを使ったほうが有効的で正しいですね。今まで日本語の文法、単語、発音、漢字、文章表現などの日本語の要素を組み合わせることで機能させてなかったが、東京外国語大学で日本語の構成についての知識を手に入れました。おかげで、より速いスピードで進歩することができると思います。もちろん、日本語以外の科目の授業を受けました。全部を話そうとすると、皆さんがつまらなくて寝てしまうかもしれないので、短くいうと「東京外国語大学の先生の方々に心から感謝を申し上げます」となって、何回言っても足りない気がする言葉になります。

大学生の生活には勉強の他に遊びということもあります。人はそれぞれですが、私は卓球部に入りました。卓球部に入るまで遊びとしてしか卓球をやったことのない私でも皆さんが優しくしてくれました。そして、何より、皆と交流することができて、友達になって、仲間になって楽しく卓球をやることができました！卓球部で合宿、飲み会、大会、、、卓球部の部員とまるで兄弟になって、とても幸せでした。

部活以外にも外語大で様々なイベントが行われて、それらにも参加して、とても楽しくて、なんだか、日本と日本人が私にとって欠かせないものになりました。留学生課の人も、優しくしてくれて、困った時に助けていただいたりして、とても感謝しています。東京外国語大学で出会った人、皆が私の心に消されることなく、とても深く刻まれました。東京外国語大学のおかげで日本人の友達も増えましたし、世界の様々な国の友達もで



きました。これで、どの国へ行っても、その国に知り合  
いや友達がいるということになりますね！なんだか、自  
分が世界に支えられている気分になってしまいます！

もし、読者の皆さんの中で東京外国語大学につい  
て文句とか、気に入らなかったことを見つけない方が  
いらっしゃったら、申し訳ありません！残念なことに、  
私には感謝の言葉以外何も出てきません。いっぱい  
思い出が浮かんでいきますが、何か悪いとか、気に入ら  
なかったことが浮かんできません！ないからなのでは  
ないでしょうか、、、

読んでいる方々は私から外語大への感謝の言葉  
でもうお腹がいっぱいでしょうから、最後に言っておき  
たいのは、次のことです。東京外国語大学のおかげ  
で一人の日本語を勉強していたロシア人男性の人生  
が変わりました。彼の世界を見ている目の色も変わ  
りました。前には普通の目の色でしたが、今なら目の中  
で燃えている炎が見えています。この先に待っている  
困難を燃えつくす炎、努力を支える炎。比喩的ですが、  
そんな気がします。

言いたい事のほんの僅かな一部ですが、こんなに  
長い文章になってしまいました。最後まで読んでいた  
だけたら、嬉しいです。下手な日本語で申し訳ありま  
せんが、皆さんに私の気持ちが伝われば、目的達成  
になりますが、さて、どうなのでしょう、、、、^\_^

金春あさこ、鈴木正道、関口洋子、頼母木久代、  
田村光明、永野紗英、中村宏、野本京子、水上ますみ、  
安井弘美（敬称略）

※万一お名前に間違いがありましたらお詫びいたします。その節  
は、当会までお知らせくだされば幸いです。印刷できない外字等、  
ご了承ください。

2月14日現在  
会員数：1960名  
納入者：678名  
納入率：34.6%

すべての活動は、皆様の年会費とご寄付で行わ  
れております。本年度会費を同封の振込用紙にて  
お振込みくださいます様、お願い申し上げます。

※ ひとりでも多くの方々の早期納入のご協力  
をお願い致します。

※ 振込用紙にメールアドレスをお書き添えいた  
だければ、今後、当会の各種イベントなど  
の情報をお届けしていきます。

一般会員：年会費 3,000円  
協賛会員：年会費 20,000円

♪ 年度末までのお願いです ♪

平成25年度 会費納入のお願い  
3月31日(月)まで受付

会員の皆様には、これまで支援活動へのご協力、  
ご支援をいただき、ありがとうございます。

会員の皆様の **納入率6割強を目指しています。**

来年度の活動ご支援いただくためにも、

是非会費納入 **継続**をお願い申し上げます。

納入をお忘れの方や、ご入会2、3年目の方々  
(H23年度 H24年度ご入会)、納入率アップに是非  
ご協力下さい。本年度会費を同封の振込用紙にて  
お振込下さいます様、お願い申し上げます。

ご入会、ご寄付  
ご協力いただき、ありがとうございます

### 新規加入者

■ 一般会員(平成25年11月7日～26年2月14日)

山崎智子 (敬称略)

### 会員寄付者

■ 一般寄付(平成25年11月7日～26年2月14日)

会津洋、浅沼尚也、浅野尚文、鮎澤孝子、今城尚彦、  
上野幸江、尾崎芳江、小野美登里、木全玲子、

## 再度心からのお願い！

会長 中嶋 洋子

前号と同じ内容ですが、大切に皆様によく理解していただきたいことですので再度掲載させていただきます。趣旨をご理解くださることを期待いたします。

現時点での会費納入率をご覧の通りですが、相変わらず低い状況が続いています。このままで果たして来年度以降の活動が成り立つものか不安に思います。

当会の活動は、主として会費収入で賄われております。会費収入は活動の要です。

会費納入をお忘れの方、どうぞどうぞぜひお納めいただきますよう、心からお願い申し上げます。

特に、各年度の、お子様の外語大入学時にご入会頂いた方々、初年度だけではなく2年目以降の納入を是非お願いいたします。実はその納入率は10数%で、全体の運営に支障をきたしているのが現状です。

なお、平成25年4月入学時に入会してくださった方々は、すでに会費納入をいただいていますから、次は平成26年の6月に発行される会報に振込用紙が入っていますので、引き続きよろしく願いいたします。

例年、外語大の新入生の保護者の方々に当会入会をお願いしていたのですが、このような現状を鑑み、26年度以降は、会費4年間分12,000円の一括振込みを以て入会していただくことを幹事会で決定しました。2年目以降も会費を確実に納入していただきたいとの思いから考えましたいわば苦肉の策です。今後の、外語大新入生の保護者に限りこの方法を採用させていただきます。それ以外の入会者または従来の会員の皆様に関しましては従来通り、年会費3,000円に対応させていただきますのでご了解くださいますようお願いいたします。

どうぞ今後とも皆様の大きなご支援を賜りたく率直な事実をお知らせさせていただきました。

# ACTIVITIES

## 5. これからの活動

1

3月21日(金)

鎌倉見学

**日時** 3月21日(金)(春分の日・祝日)  
**募集人数** 留学生30名、日本人学生10名  
**コース** 新宿駅西口集合ーバスで鎌倉へー  
建長寺ー鶴岡八幡宮ー由比ヶ浜(昼食)  
ー長谷寺ー大仏ーバスで新宿へ  
(※コースは変更する場合があります)

今回もバス旅行にしました。人数に制限があり、留学生と付き添い幹事のみでの参加とさせていただきます。ご了承ください。

2

春期バザー開催

4月8日(火)～9日(水)

場 所 国際交流会館2号館交流室

ご協力いただき、留学生に毎回大変好評いただいております春期(4月期)バザー開催に向けて、下記の要領にてバザー用品送付受付期日をご確認の上、ご準備、ご手配いただきたくお願いを申し上げます。

バザー用品受付期間

4月1日(火)～4月7日(月)

お送りいただきたい物品

■各種辞書、日本文化・歴史に関する書籍、文学作品、日本語教育、日本語学習関連書籍など

■台所用品(小型の鍋、フライパン、電気炊飯器、レンジ、トースターなど)

■日常生活用品(自転車、タオル、毛布、布団、食器、衣類、電気製品(一人で持ち運び可能なもの)、保存のきく食品など)

※一人で持ち運びが不可能な大型電気製品については042-330-5183(梅田 火・水・金のみ)までご連絡をいただきたいと思います。

※衣類や布ものは、新品同様またクリーニング済のもの、できれば春・夏物を希望します。

■国際交流事業の一環としての「着物・着付け」用男性羽織・袴一式、振袖、帯など

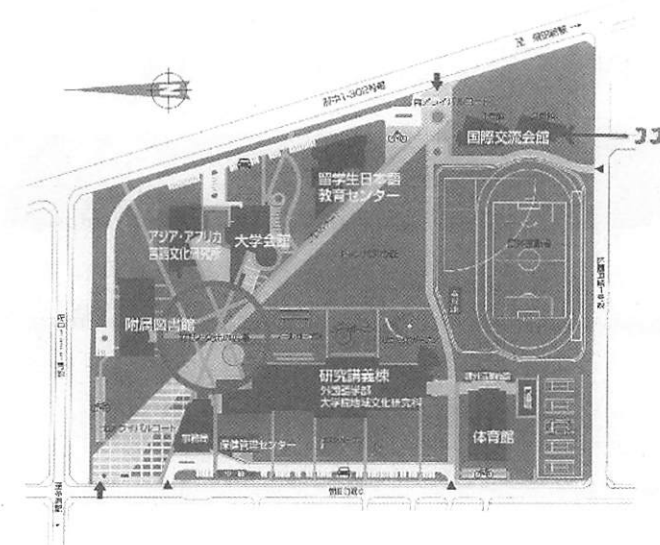
※ 古着可、ただし使用可能なもの

**送付先** 東京外国語大学留学生課気付  
東京外国語大学留学生支援の会

〒183-8534 東京都府中市朝日町 3-11-1  
TEL042-330-5183(電話にて直接のお問い合わせは火・水・金に梅田までご連絡ください。)

**送料** 宅急便等で品物をお送りいただく場合には、恐れ入りますが、従来通り送料のご負担をお願いいたします。お手数ですが「午後便」をご指定下さい。

※ 平日の時間(12:00~16:00)は、連絡室が開いております。受付期間中の直接搬入も可能となります。下の地図の場所(国際交流会館)までお願いします。



当日のお手伝い・参加可能な方は、当会または下記までご連絡下さい。

042-330-5183 (火、水、金のみ、梅田まで)

## 幹事会

下記のとおり幹事会を開催しました。

平成25年12月8日(日)

平成26年1月19日(日)

平成26年2月16日(日)

平成26年3月23日(日)(予定)

## HOME VISIT & STAY

♪ ホームビジット、ホームステイ受け入れに関心のある方は是非、当会にお問い合わせ下さい。

首都圏などでのホームステイ受け入れに加えて、地方の方々のお申し出もお待ちしています。といたしますのは、留学生たちは、日本の地方の文化に触れ、生活してみたいという希望もまた多いからです。

留学生の笑顔で、

私たちも笑顔になりたいものです。

<お問い合わせ先>

〒183-8534 東京都府中市朝日町 3-11-1

東京外国語大学 留学生課気付 (梅田、谷川)

TEL : 042-330-5183 / 5759

FAX : 042-330-5189

<http://www.facebook.com/tufs.issa2>

©Copyright 2014, TUFSS International Student Support Association